MEIKO

Viewcross

マルチシグナルスイッチャー

V6110・V6210

取扱説明書

V6210

■ このたびはMEIKO製品をお買い求めいただきありがとうございます。
■ この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
■ この取扱説明書はいつでも見ることができるところに保存してください。
■ ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

Viewcross は、メイコー マルチシグナルスイッチャーのオリジナルブランド名です。

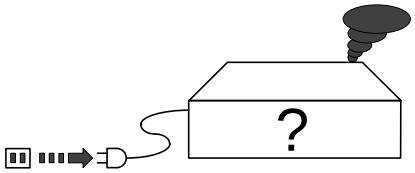
■ 安全上の注意　【はじめにお読みください】

◆本機を正しく安全にお使いいただくために必ずお守りください◆

警　告

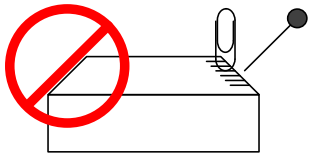
■ 万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く。

煙が出たり異音やにおいがするなど異常状態のまま使用しないでください。火災、感電の原因となります。
動作に異常が発生した場合は直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから外してください。



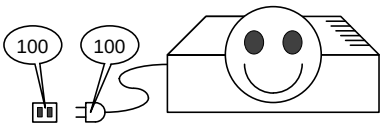
■ 異物を入れない。

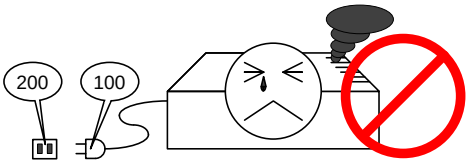
通風孔から液体や異物を入れないでください。
感電や発火の恐れがあります。



■ 指定された電源電圧で使う。

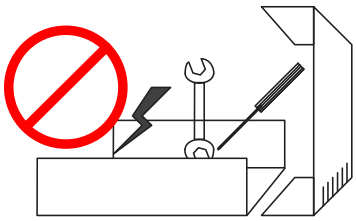
表示された電源電圧以外で使用すると、火災、感電の原因となります。
また、ACアダプタを使用する製品では付属品以外のものは絶対に使用しないでください。





■ 本機のカバーを外したり、改造しない。

内部には電圧の高い部分がありますので、手を触れると危険な上、故障の原因となります。内部の点検・調整はメーカーにご依頼ください。
また、本機を改造したり、解体した状態での使用および保管は、故障や感電の原因になりますのでおやめください。
基板内のボリューム・設定ピン等は出荷時に調整されていますので手を触れないでください。これらを廻したり変更したりすると正常動作しなくなることがあります。

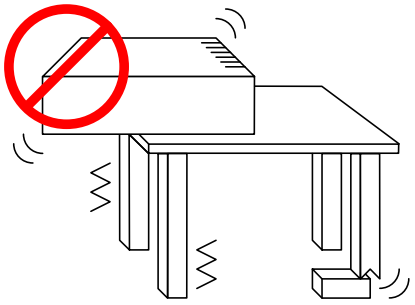


■ 本機の上に花びんやコップなどを置かない。

内部に異物や水・薬品などが入ると火災、感電の原因となります。万一内部に液体・異物等が入った場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜いてご購入の販売店にご連絡ください。

■ 本機を不安定な場所に置かない。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、振動のある場所での使用および保管は避けてください。



◆本機を正しく安全にお使いいただくために必ずお守りください◆

注 意

■ 本機を次のような場所に置かない。

次のような場所での使用および保管は故障や火災の原因になりますので避けてください。

●風通しの悪い所

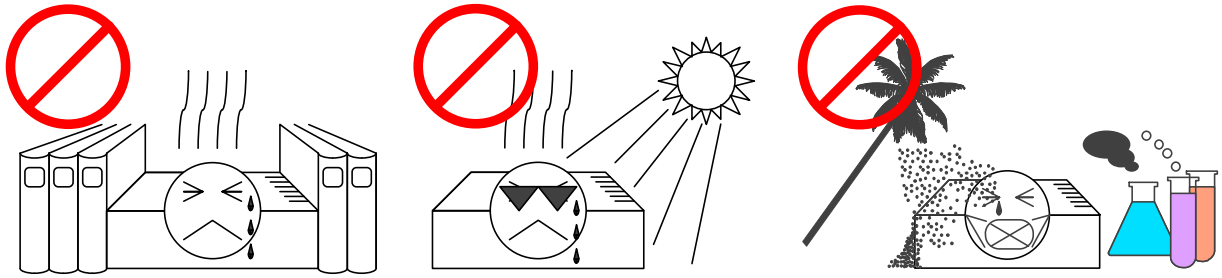
本機には通風孔があります。通風孔をふさぐような風通しの悪い環境では使用しないでください。

●高温になる所

発熱する物の付近や直射日光の当たる場所での使用および保管は避けてください。

●ホコリや湿気の多い場所

極端に湿気の多い所やホコリの多い場所、薬品の雰囲気中などでの使用および保管は避けてください。

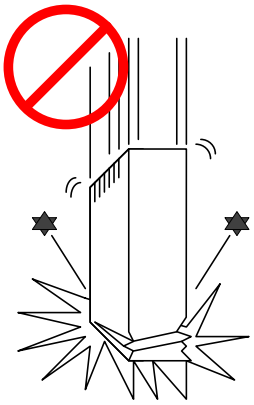


■ 本機の上に重いものを置かない。

本機の上に重いものを置かないでください。カバーを傷めたり、故障の原因となります。

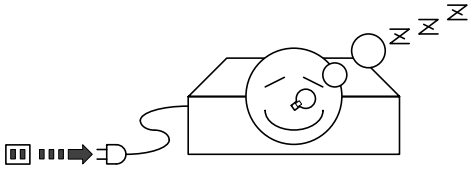
■ 衝撃を加えたり落下させない。

本機は電子精密機器ですので、衝撃を加えたり落下させないようにしてください。



■ 長期間使用しない時は電源プラグを外す。

長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから外してください。



使用上の注意

■ 本機はマイクロプロセッサを使用していますので、極端な速さで電源ON／OFFを繰り返しますと正常動作しないことがあります。誤動作を防ぐため電源をOFFして再投入する場合は数秒待ってからONしてください。

■ 強力な電磁波の発生するものの付近で本機を使用しますと誤動作や画面ノイズが発生することがあります。このような場合は原因となるものから離してご使用ください。

■ AC電源電圧はAC100～240Vのワールドワイド入力対応ですが、内部電源ユニット保護のため100V系から200V系あるいはその逆に変更後、電源を再投入する場合は必ず5分ほど経過した後に投入してください。不用意に入力を変化させますと内部電源ユニットを破損することがあります。
また、日本国内のAC100V以外で使用の際はACコードの交換が必要な場合があります。

■ 本機への入力信号は、電気的仕様条件に適合するものを入力してください。入力部には保護回路がありますが、仕様外の信号を入力しますと誤動作の可能性があるばかりでなく、機器を破損させることがあります。

■ 液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 製品の性質上、発光部(液晶・ボタン)の色あいや輝度が多少異なる場合があります。それらは正常動作ですので、あらかじめご了承ください。

■ 冷却ファンの異常が検出されるとプレビューモニタにエラーが表示され、メニュー操作及びプレビューモニタの操作はロックされます。また、一定時間(45分)を超えると信号切り換え操作自体ができなくなります。エラー表示が出た場合には、使用を中止し販売店までお問い合わせください。

設置における注意

■ 本機は直流ファンによる強制空冷方式です。設置の際、吸排気口をふさぐことがないようご注意ください。

■ 設置の際には、本製品の仕様に記載された温度範囲を超えない環境条件でご使用ください。
密閉された場所や高温多湿な場所への設置は避け、通気の良いところでご使用ください。

■ 付属のラックマウント金具は、キャビネットラック取り付けの際の補助的な役割をするものです。安全のため、金具のみで本体を水平に支えることは避けてください。ラック等に実装する場合には必ずサポートアングルをご使用ください。ただし、操作卓の上部(上向き)に実装することは可能です。

■ 電源コードは必ず付属のものを使用し、インレットに確実に挿入してください。また、コードに負荷のかからないよう設置してください。無理なコードの曲がりや挿入不良などがありますと接触不良になるばかりでなく、火災の原因にもなりますのでご注意ください。

VCCIについて

■ 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく下記の技術基準適合試験を実施しています。

- 電源ポート伝導妨害波測定
- 通信ポート伝導妨害波測定
- 放射妨害波測定

クラスA情報技術装置の表示

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　　VCCIーA

目　次

はじめに ---------- 1
梱包物の確認 ---------- 1
型式表記 ---------- 1

【１】概 要 ---------- 2

【２】特 長 ---------- 2

【３】外 観 ---------- 4
3-1 フロントパネルの説明 ---------- 4
3-2 リアパネルの説明---------- 5
3-3 接続例---------- 6
3-4 外形図---------- 7

【４】操作方法 ---------- 8
4-1 クロスポイント切り換え ---------- 8
4-2 プレビュー表示 ---------- 8
4-3 メニュー操作 ---------- 9
4-3-1 映像系入出力の各種設定 --------- 11
4-3-2 音声系入出力の各種設定 --------- 15
4-3-3 通信系の各種設定 ---------- 17
4-3-4 プレビューモニタの設定---------- 25
4-3-5 オプション設定 ---------- 27

【５】制 御 ---------- 30
5-1 本体制御 ---------- 30
5-2 外部接続機器制御 ---------- 31
5-3 通信コマンド---------- 32
5-3-1 コマンド一覧 ---------- 32
5-3-2 コマンド詳細 ---------- 32
5-4 ネットワーク接続---------- 34
5-4-1 Webコントローラ ---------- 34
5-4-2 出力切り換え ---------- 35
5-4-3 リモートコマンドの設定 ---------- 36
5-4-4 リンク設定 ---------- 37
5-4-5 通信設定 ---------- 38
5-4-6 外部機器通信設定 ---------- 39

【６】コネクタ信号表 ---------- 40
6-1 マイク接続端子 ----------40
6-2 入力端子3 ----------40
6-3 入力端子6 ----------40
6-4 音声入力/ライン入力端子----------40
6-5 音声出力端子----------41
6-6 プレビュー接続端子 ----------41
6-7 映像入力端子(RGB系) ----------42
6-8 映像入力端子(ビデオ系) ----------42
6-9 映像出力端子----------42
6-10 RS-232C通信端子 ----------43
6-11 ネットワークインターフェース---------43
6-12 パラレルリモート端子 ----------44
6-13 外部機器用RS-232C通信端子 -------44
6-14 接点出力端子----------45
6-15 ﾈｯﾄﾜｰｸｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ(ﾌﾛﾝﾄ･ﾘｱ ｽﾙｰ接続) ---46

【７】こんな表示が出たら ----------46

【８】出荷時の設定 ----------47

【９】主な仕様 ----------48

【10】製品保証 ----------49

【11】製品の修理・調整について -----49

はじめに

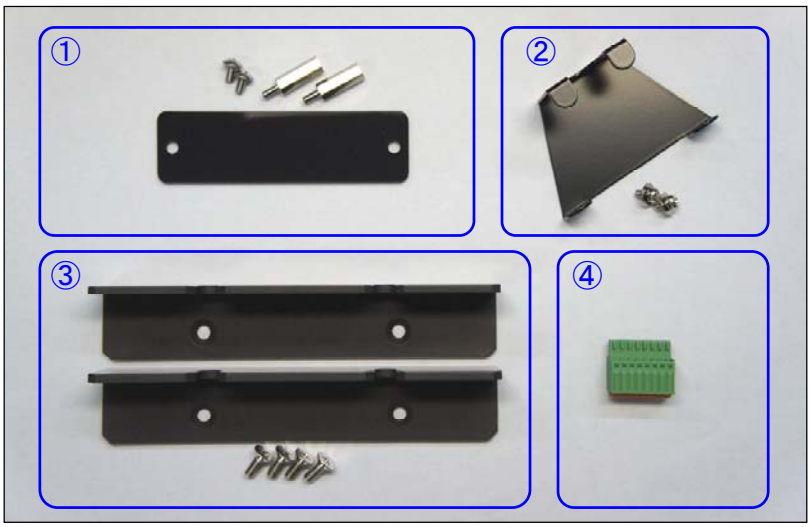
このたびはMEIKO製品をお買い求めいただきありがとうございます。
はじめに梱包内容と型式のご確認をお願いします。

梱包物の確認

梱包内容物をご確認ください。

梱包品リスト

- 本体　1台
- 取扱説明書(本書)　1部
- 誤操作防止板　(アクリル)　1枚(取り付けスタッド 2本, 取り付けネジ 2本付属) --- 図①
- AC抜け止め金具　(スチール)　1個(取り付けネジ 2本付属) ---------- 図②
- ラックマウント金具 (アルミ)　2個(取り付けネジ 4本付属) ---------- 図③
- 8ピンターミナルコネクタ　1個---------- 図④
- 保証書　1部
- ACコード　1本(2m)



万一、内容物に不備がある場合には、弊社営業窓口までお問い合せください。

型式表記

■ Viewcross V6110/V6210の型式

型 式	映像・音声			EIA サイズ
	入 力		出 力	
	NTSC	RGB	RGB	
V6110	3系統	3系統	1系統	3U
V6210	3系統	3系統	2系統	3U

【1】概　要

V6210/V6110は、各種の映像信号が入力可能なIP変換スケーラ付のマルチシグナルスイッチャーです。
6系統の映像・音声入力を持ち、VIDEO系のアップスケーリング機能やマイクミキシング機能、プレビューモニタを装備しています。

スケーラ部は、NTSC,PAL,SECAMのVBS信号が入力でき、倍速,SVGA,XGA,WXGA,SXGA,SXGA+,HDTV(720p,1080i)のアナログRGB(YPBPR)信号に変換して出力します。

高画質IP変換エンジン搭載によりI-P変換プロセス時に発生するジャギー(斜め線や動画輪郭のギザギザ)・画像ボケ・モアレなどを極力排除し、なめらかで自然な動画と明瞭で美しい画像を再生できます。

ノンスケーリング部は、PCなどの高解像度アナログRGB信号入力に対し、画質劣化を防ぐ広帯域回路を使用しています。1出力あたり2系統同時使用可能であるため、2分配器としても使用できます。また外部プレビュー出力端子を持ちます。

本体前面にLCDプレビューモニタを内蔵しているため、別途モニタを設置することなく事前に(切り換え前に)ソースの確認を行うことができます。

シリアル/パラレル/イーサネットにより本機の制御を行ないます。また、外部機器のシリアル制御、各種装置の制御ボタンなども装備しており本機1台で容易なオペレーションが可能です。

筐体サイズは3Uサイズと小型で、操作卓の上部実装を考え奥行き150㎜と省スペース化されています。1出力と2出力モデルの2タイプをご用意しています。

【2】特　長

■ マルチセレクト

パソコンやAV機器など6系統の映像音声入力信号から1つを選択出力するスイッチャーです。ビデオ系にはスケーリング機能(高画質IP変換,スキャン変換)を内蔵しています。
プレビュー出力のビデオは、ノンスケーリング出力します。

- ビデオ　　3系統(BNC)
- アナログRGB　　3系統(15P HD D-SUB)

■ 用途に応じた2タイプを用意

- V6110　　1系統2分配出力
- V6210　　2系統2分配出力

■ マイクミキシング機能付ステレオ音声6系統入力

低ノイズ、低歪率のオーディオ専用回路。

■ 映像分配機能

映像の2分配出力器としても使用可能。映像出力はBNCとHD D-SUBの同時出力。

■ 広帯域アナログRGB(YPBPR)回路

UXGAにも対応する広帯域スイッチャー。

■ 多種のビデオ系入力

ビデオ系はNTSC/PAL/SECAM対応。

■ 高画質IP変換エンジン搭載

I-P変換プロセス時に発生するジャギー・画像ボケ・モアレなどを極力排除し、なめらかで自然な動きと、すっきりとした明瞭で美しい画像を再生。大画面表示に最適。

- 適応三次元Y/C分離機能搭載
- フレームTBC機能搭載
- オーバー/アンダースキャン等のズーム機能やカラー調整・ポジションなど充実した各種調整機能。

■ プレビューモニタ

本体に3.5インチTFT液晶プレビューモニタを内蔵。
ビデオ系,RGB系の両方に対応※1。切り換えを行う前の事前確認にご利用ください。

■ 多種の変換出力形式

出力形式は、DOUBLE(倍速),SVGA,XGA,WXGA,SXGA,SXGA+,1080i,720pが可能。
DOUBLE,SVGA,XGA,WXGA,SXGA,SXGA+はアナログRGB形式、1080i,720pはYPBPR形式で出力します。

■ 容易なユーザーインターフェース

照光式押しボタンスイッチ、LCDによる各動作内容表示および回転式ツマミによる設定で操作が容易
V6110/V6210では、新たに高輝度押しボタンを採用し、陽が射すような明るい室内でも視認性が向上しました。

■ LAN／RS-232C／パラレルポートによる遠隔制御

一般的なRS-232Cシリアル通信のほか、パラレルポート,イーサネットによるネットワーク制御が可能(10BASE-T/100BASE-TX)。制御コマンドにてユーザープログラムによる詳細な制御も可能です。

■ LANスルー端子

前面と背面を接続する、LAN端子を装備しています。背面側にネットワーク回線を接続しておくことにより、操作卓上に置いた持ち込みパソコンと前面LAN端子を接続することで、容易にネットワークに繋ぐことができます。

■ 接点コントロール端子

前面パネルのREMOTEスイッチと連動する、接点コントロール端子を装備しています。
V6110/V6210では、新たにCPU制御を可能としましたので、プログラム連動制御が可能になりました。
また、接点以外のCPUコントロールボタン数も従来機より増加しています。

■ 電源制御専用ボタン

前面パネルのREMOTEスイッチの中で、パワーディストリビュータ制御専用のボタンを装備しました。
マルチスイッチャ本体の電源をパワーディストリビュータから供給し、マルチスイッチャの電源を完全ON/OFFすることが可能です。

■ ラストメモリー機能による状態保存

電源を切る直前の状態を保持しています。(ラストメモリー機能)※2

■ EIA規格準拠のラックマウントが可能

3Uサイズ(V6110・V6210)。取り付け金具付属

■ ワールドワイド入力対応(AC100～240V)

ワイドレンジの電源を搭載。海外での使用にも対応できます。※3

■ Web アプリケーション搭載

ブラウザでの制御用アプリケーションを内蔵しています。

■ LINE MIX入力

V6110/V6210では、オーディオラインミキシング入力端子を追加しました。

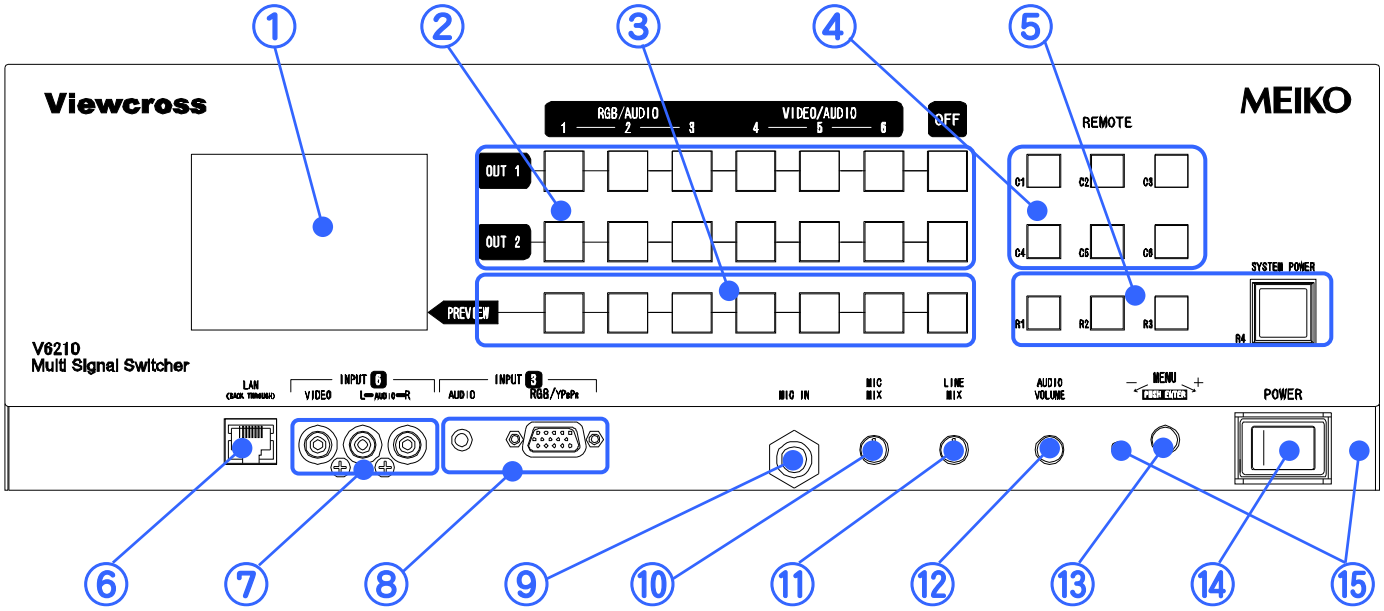
■ PJLink対応※4

V6110/V6210では、PJLink機能を追加しました。
PJLink仕様のプロジェクタをネットワークから制御可能です。

※1 表示できるモードに一部制限があります。
※2 本機能は停電バックアップを目的にしたものではありません。
メモリー書き込み中に電源が遮断された場合は正常保存されないことがあります。
※3 電圧および地域によりACコード交換が必要な場合があります。
※4 PJLink は、データプロジェクタを操作・管理するための統一規格です。メーカを問わずに、プロジェクタの集中管理やコントローラからの操作を実現します。
PJLink商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。

【3】外 観

3-1 フロントパネルの説明



■ 正面部

① プレビューモニタ -------- ③で選択した映像を表示します。

② 入力選択ボタン-------- 選択(点灯)した入力信号を各OUT端子に出力します。

③ プレビュー選択ボタン -------- プレビューモニタに表示する入力選択ボタンです。

④ リモート制御ボタン-------- シリアルやネットワーク通信と連動するコマンドスイッチです。C1～C6
※コマンド登録はWebコントローラで行ないます。

⑤ リレー制御ボタン -------- 背面のREMOTE制御用のスイッチです。R1～R4

⑥ ネットワーク接続端子 -------- 背面LAN端子へのスルー接続用端子です。
【RJ45 8ピンモジュラコネクタ】

⑦ 入力端子 6 -------- ビデオ系入力6の接続端子です。
【映像・音声/RCAタイプピンジャック】

⑧ 入力端子 3 -------- RGB系入力3の接続端子です。
【映像/HD D-SUB15ピンメスコネクタ 音声/ステレオミニジャック Φ3.5mm】

⑨ マイク接続端子-------- マイク入力の接続端子です。
【モノラル標準ジャック Φ6.3mm】

⑩ マイクMIX音量調整ツマミ -------- マイクミキシング音量を調節できます。
(未使用時はゼロに絞ってご使用ください)

⑪ ラインMIX音量調整ツマミ -------- ラインミキシング音量を調節できます。
(未使用時はゼロに絞ってご使用ください)

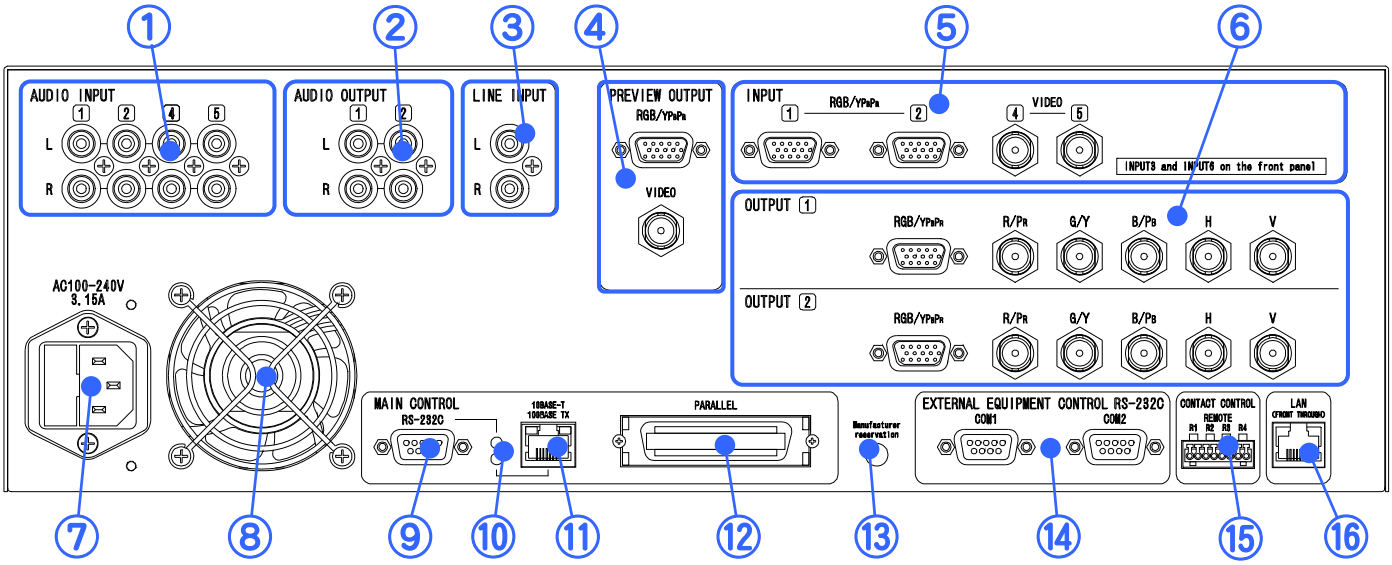
⑫ オーディオ音量調整ツマミ -------- 入力の音量を調節できます。

⑬ メニュー操作ツマミ-------- 各種設定や操作を行うツマミです。

⑭ 電源スイッチ-------- 本機の電源スイッチです。

⑮ スタッド取り付け穴-------- 付属の誤操作防止板を使用する場合のスタッド固定穴です。

3-2　リアパネルの説明



■ 背面部

① 音 声 入 力 端 子--------　音声信号の入力端子です。　【RCAタイプピンジャック】

② 音 声 出 力 端 子--------　音声信号の出力端子です。　【RCAタイプピンジャック】

③ ラインMIX入力端子--------　ラインミキシング入力端子です。　【RCAタイプピンジャック】

④ プレビュー出力端子--------　プレビュー出力用の映像・音声接続端子です。スケーリングしない出力です。
【映像/BNCコネクタ・HD D-SUB5ピンメスコネクタ】

⑤ 映 像 入 力 端 子--------　映像信号の入力端子です。
【RGB系/HD D-SUB15ピンメスコネクタ　VIDEO系/BNCコネクタ】

⑥ 映 像 出 力 端 子--------　映像信号の出力端子です。RGB系はスルー出力、VIDEO系はスケーリングされて出力されます。D-SUB15とBNCの同時2系統出力しています。
【HD D-SUB15ピンメスコネクタ,およびBNCコネクタ】

⑦ AC電源入力端子--------　AC電源入力端子(ヒューズホルダ付※1)です。※2【3極ACインレット】

⑧ 冷　却　フ　ァ　ン--------　強制空冷用のDCファンです。

⑨ RS-232C通信端子--------　本機制御用のRS-232C接続端子です。【D-SUB9ピンオスコネクタ】

⑩ 制御選択表示LED--------　本機の制御がRS-232C、LANのどちらを使用しているかを表示します。

⑪ 本機/外部制御用ネットワーク通信端子 --------　本機および外部機器制御用のネットワーク接続端子です。
【RJ45　8ピンモジュラコネクタ】

⑫ パラレル制御端子--------　本体制御用のパラレル接続端子です。【アンフェノール36Pinメスコネクタ】

⑬ メンテナンススイッチ--------　メーカーメンテナンス用スイッチです。(必ず1の位置でご使用ください)

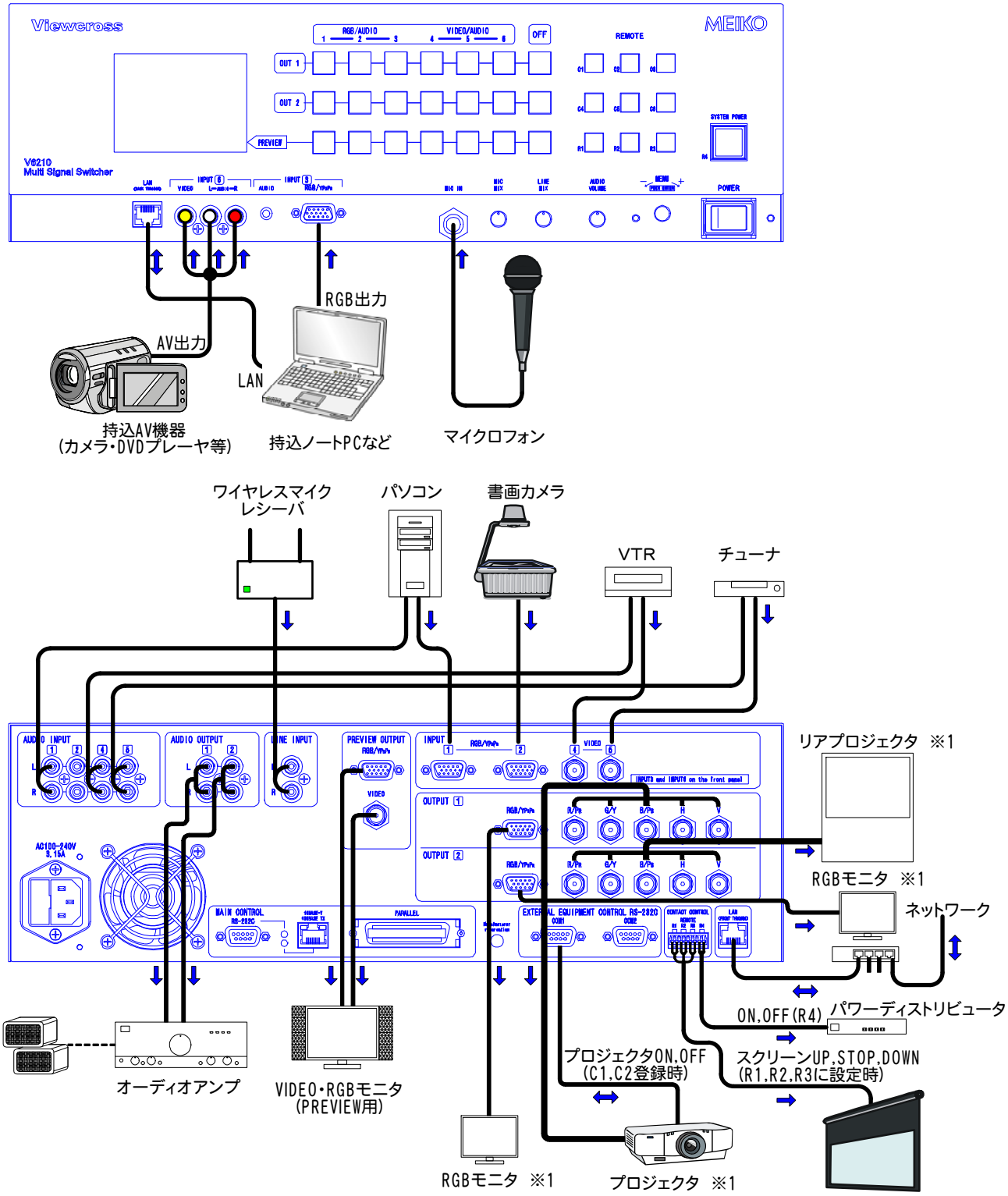
⑭ 外部機器用RS-232C通信端子 --------　RS-232Cで外部接続機器を制御するための通信コネクタです。
【D-SUB9ピンオスコネクタ】

⑮ リモート制御端子--------　外部接続機器を接点により制御するためのコネクタです。
【8ピンターミナルコネクタ】

⑯ ネットワーク接続端子 --------　前面LAN端子へのスルー接続用端子です。【RJ45　8ピンモジュラコネクタ】

※1 交換の際はAC250V 3.15A UL/PSE品(即断タイプ不可)をご使用ください。
※2 電源電圧・周波数等は仕様欄を参照してください。電圧および地域によりACコード交換が必要な場合があります。

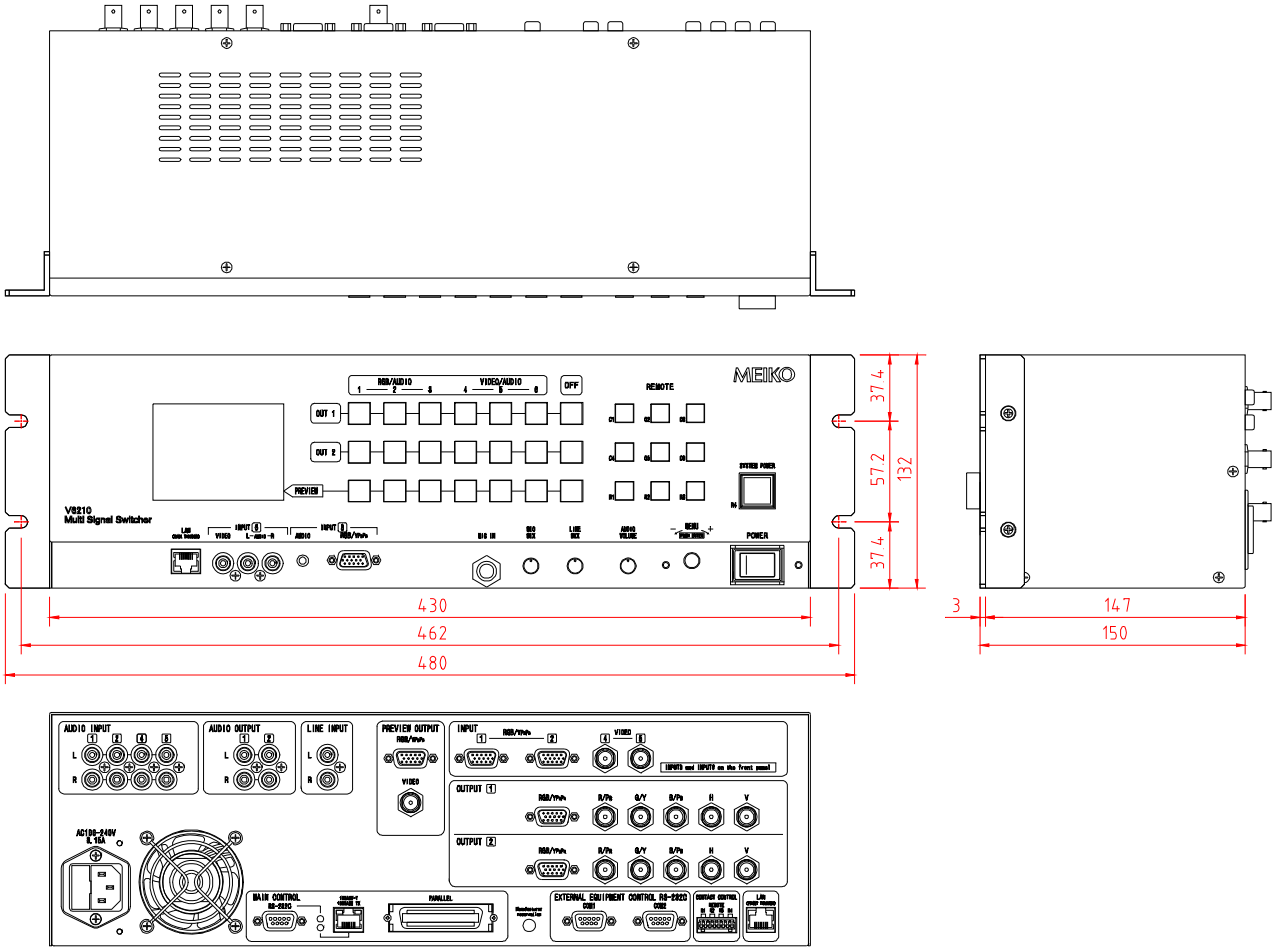
3－3　接続例



※1　各OUTPUTの5BNCとHD D-SUB15出力は、2系統同時出力されます。

3－4　外形図

■ 外形寸法図（ラックマウント金具実装時）



本体外形寸法＝W430×D150×H132(mm)（突起物を除く）［EIA規格3Uサイズ準拠］

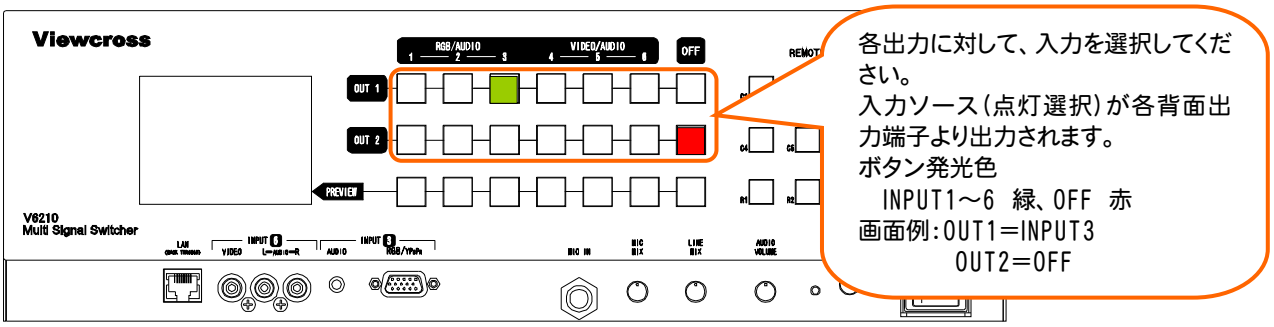
※パネルのスイッチ数やコネクタ数はV6210の場合です。

【4】操作方法

4-1　クロスポイント切り換え

機　能　マトリクススイッチの切り換えによる入出力操作

解　説　希望チャンネルへの切り換えと確認を行ないます。



※各ボタンには、切り換え機能以外に通信コマンドによる各種の制御をプログラムすることができます。コマンドの登録方法に関しましては　36ページ「5-4-3」の項を参照してください。

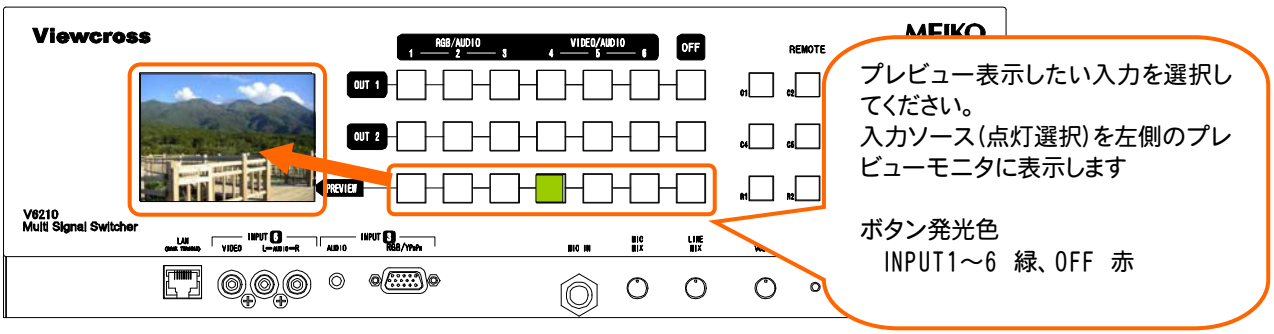
※コマンドが登録されているボタンの動作は処理中にLEDが1秒周期で点滅します。
※ネットワークによる外部機器制御時にエラーを検出した場合、LEDが100ms周期で5回点滅します。

4-2　プレビュー表示

機　能　各入力をプレビューモニタへ表示します。

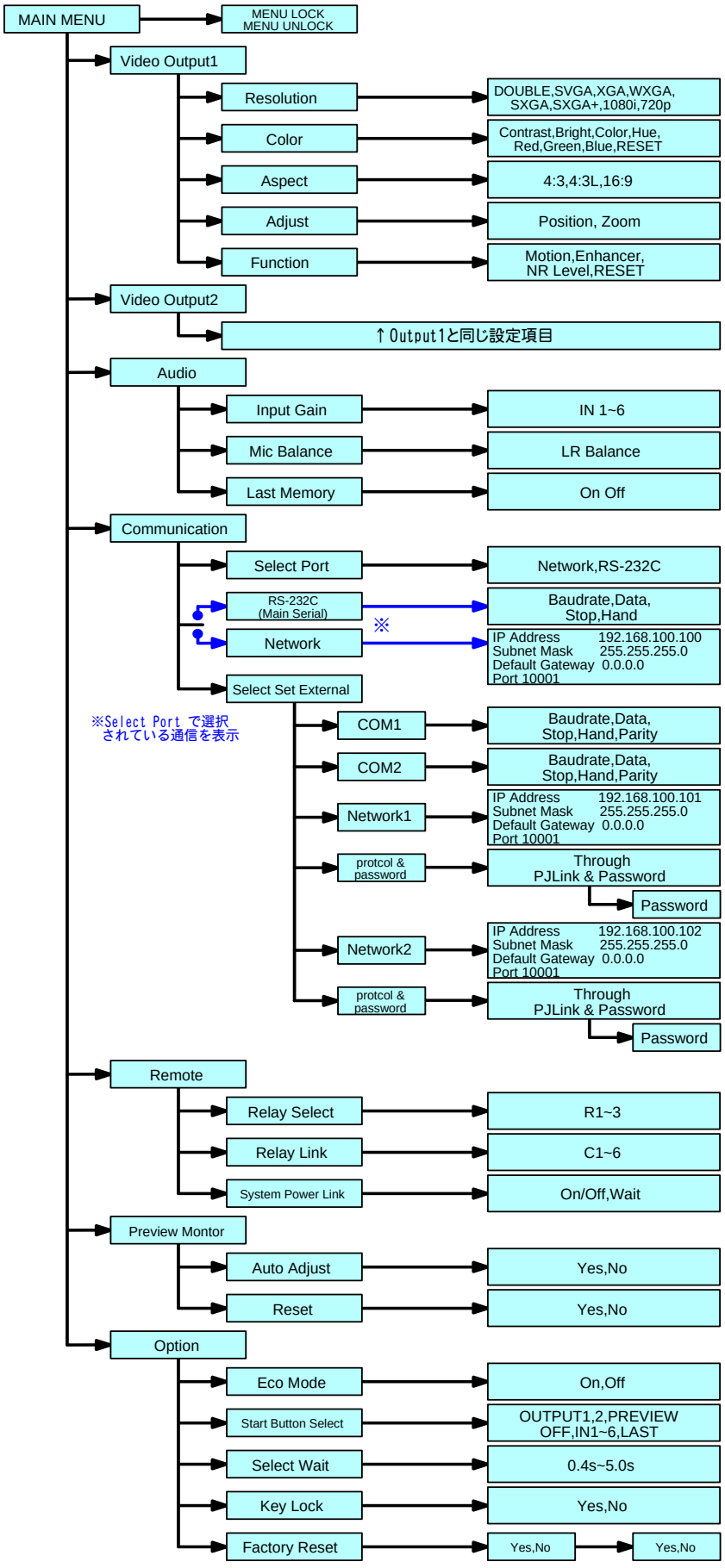
解　説　切り換え前にソース確認を行ないます。
標準で表示できる信号はビデオ系統でNTSCのVBS信号、RGB系統でVGA、SVGA、XGA、SXGAの60Hzとなります。※YC_BC_RやYP_BP_R信号は表示できません。
上記以外の信号では、正常表示しない場合があります。
なお表示位置等が正常にならない場合、Auto Adjust機能を使用することにより改善することができます。

※背面のプレビュー出力も同様に出力していますが、スケーリングは行ないません。プレビュー出力のビデオ系、およびRGB系はそれぞれそのまま出力されます。



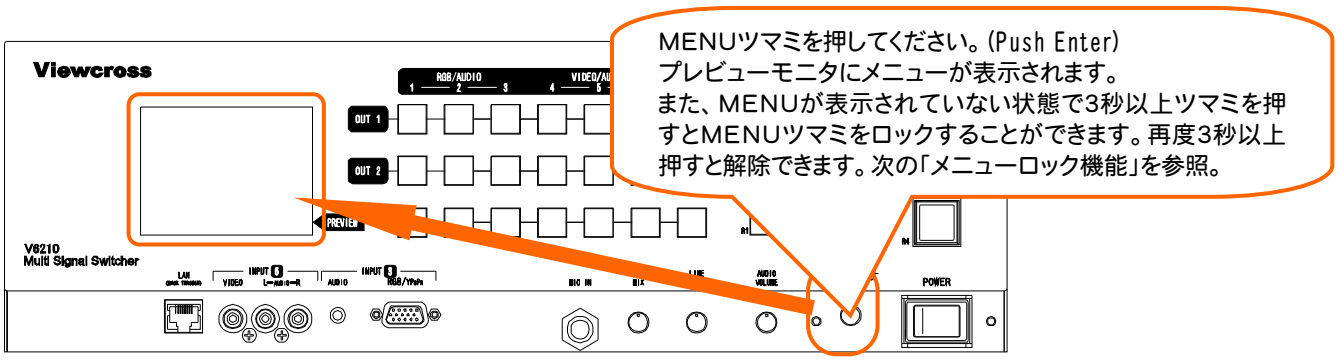
4-3　メニュー操作

■ 設定メニューツリー



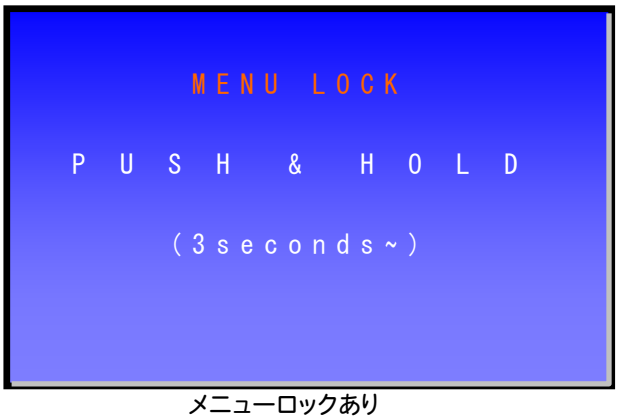
■ メニューツマミの基本操作

マルチスイッチャの各種設定はメニューツマミの操作により行ないます。
※MENU内の全項目では90秒間操作をしないと自動的にメニューを終了します。



■ メニューロック機能

メニュー内容の誤設定防止のためのMENUツマミロック機能です。この機能では解除方法が表示されます。
物理的に操作を防止したい場合は、付属の誤操作防止板を併用してください。
MENUが表示されていない状態でMENUツマミを3秒以上押すと、MENUツマミをロックできます。再度3秒間押すと、解除されます。ロック時、解除時の表示は下記になります。



メニューロックあり

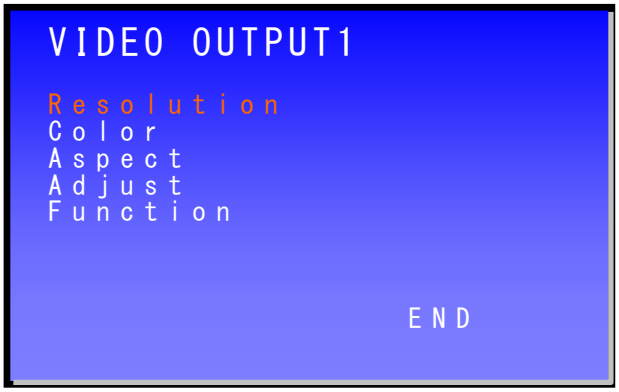
メニューロックなし

■ メインメニュー

機 能　ツマミの操作により各種設定を行なうことができます。

操 作　ツマミの回転により、
↪ Video Output1 ⇔ Video Output2 ⇔ Audio ⇔ Communication ⇔ Option ⇔ END ↩

順次赤い部分が移動します。(V6110ではVideo Output2は表示されません。)
・選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。ENDはメニューを終了します。



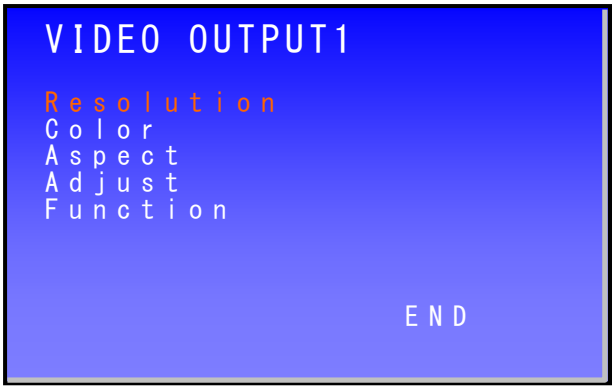
４－３－１　映像入出力の各種設定

【VIDEO OUTPUT1,2メニュー】

機　能　映像関連の各種設定メニュー

↪ Resolution ⇔ Color ⇔ Aspect ⇔ Adjust ⇔ Function ⇔ END ↩

説　明　映像信号出力1または2の調整・設定を行ないます。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)により決定します。
- 出力数が1の機種ではOutput2は表示されません。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- 各項目の詳細は次項から説明します。

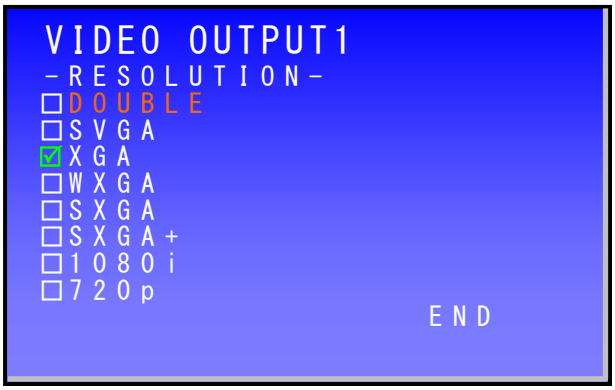


① VIDEO OUTPUT1,2 → RESOLUTION

機　能　映像出力解像度設定

↪ DOUBLE ⇔ SVGA ⇔ XGA ⇔ WXGA ⇔ SXGA ⇔ SXGA+ ⇔ 1080i ⇔ 720p ⇔ END ↩

説　明　映像信号出力の解像度の設定と変更を行ないます。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- チェックマークのついている項目が現在の設定です。
- ENDで前のメニューに戻ります。



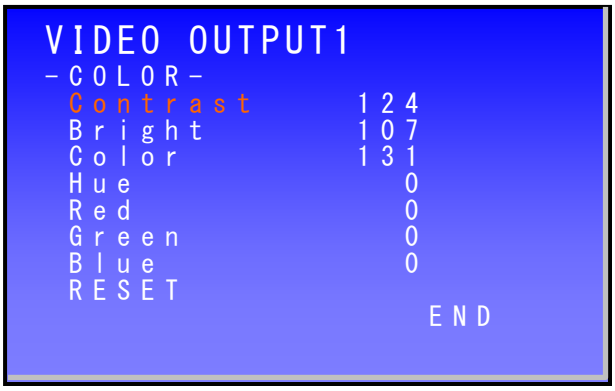
② VIDEO OUTPUT1,2 → COLOR

機 能 映像出力色設定

↳ Contrast ⇔ Bright ⇔ Color ⇔ Hue ⇔ Red ⇔ Green ⇔ Blue ⇔ RESET ⇔ END ↰

説 明 映像信号出力の各種色調整を行ないます。

- 選択後、Enter(ツマミを押す)により数値の変更が可能になります。
- 出力の解像度が1080iと720pの時はRed,Green,Blueは表示されません。
- RESETは、工場出荷時の調整値(機器固有の初期値)にリセットします。
- ENDで前のメニューに戻ります。



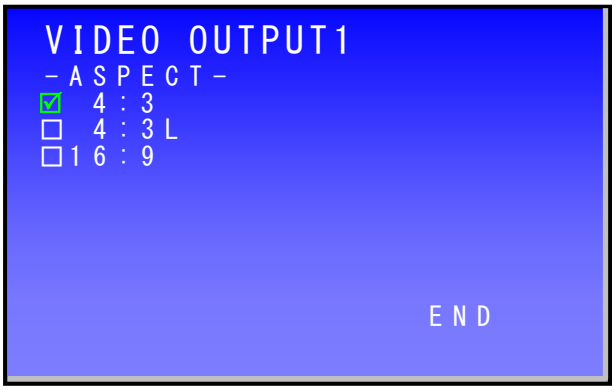
③ VIDEO OUTPUT1,2 → ASPECT

機 能 映像出力アスペクト設定

↳ 4:3 ⇔ 4:3L ⇔ 16:9 ⇔ END ↰

説 明 映像信号出力の表示アスペクト比の変更を行ないます。

- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- チェックマークのあるボックスが現在の設定です。
- ENDで前のメニューに戻ります。

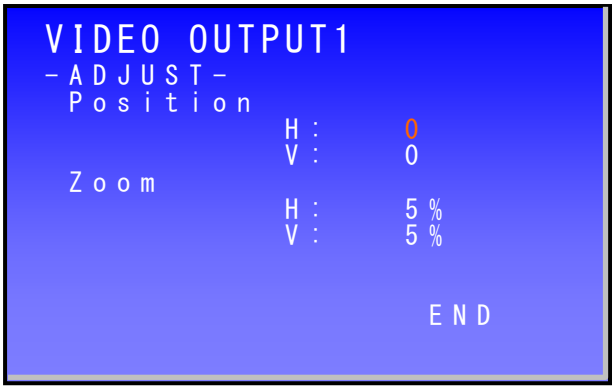


④ VIDEO OUTPUT1,2 → ADJUST

機 能 映像出力ポジション,サイズ調整

↪ Position H: ⇔ Position V: ⇔ Zoom H: ⇔ Zoom V: ⇔ END ↩

説 明 映像信号出力の位置やサイズの変更を行ないます。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)により数値の変更が可能になります。
- ENDで前のメニューに戻ります。

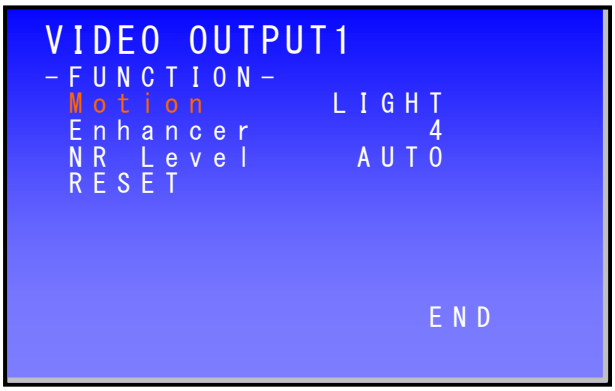


⑤ VIDEO OUTPUT1,2 → FUNCTION

機 能 映像出力変換プロセス設定

↪ Motion ⇔ Enhancer ⇔ NR Level ⇔ RESET ⇔ END ↩

説 明 映像信号出力の変換機能設定を行ないます。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)によりパラメータの変更が可能になります。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- RESETはFUNCTIONで設定した値を工場出荷値に戻します。
  その他の各項目の詳細は次項から説明します。



⑤−1 VIDEO OUTPUT1,2 → FUNCTION → MOTION

機 能 動画静止画モード選択

説 明

- 本機のI-P変換部は、画像の動きを検出して動き部分のジャギー(斜め線のギザギザ)を極力減少させ高画質化する特殊な処理を行なっています。
- 画面上にOSDやテロップのような細かい静止画部分とそれに隣接した映像部分の動き差が大きい場合、静止画部分の輪郭に僅かなちらつきが見えることがあります。(MAX方向)
  また、高速に映像が動くとジャギーが目立つ場合もあります。(OFF方向)
- ジャギーの現れ方とちらつきの現れ方は相反しますので、映像を確認の上最適なレベルをお選びください。

表　　示	調 整 内 容
OFF	動画移動処理 OFF
MIN	移動輪郭のぼやけ小・高速移動ノイズ大
LIGHT	↑
HIGH	↓
MAX	移動輪郭ぼやけ大・高速移動ノイズ小

⑤−2 VIDEO OUTPUT1,2 → FUNCTION → ENHANCER

機 能 エンハンサ機能選択

説 明

- 三次元ノイズリダクションおよびエッジエンハンス機能です。
- 工場出荷時の設定は"4"です。
- 効果の度合いにより1～9まで細かく設定できます。

表　　示	調 整 内 容
OFF	エンハンサ機能 OFF
1	エンハンサ　弱
↑ ↓	↑ ↓
9	エンハンサ　強

⑤−3 VIDEO OUTPUT1,2 → FUNCTION → NR

機 能 ノイズリダクション(NR)機能設定

説 明

- デジタルノイズリダクションは、映像に表れるチラチラしたノイズを消す場合にたいへん有効な機能ですが、処理上、映像コンテンツや信号により残像現象やボケが目立つ場合があります。
- 本機では、デジタルノイズリダクションのON/OFFのみではなく、ON時のノイズリダクションレベルを段階的に設定できるようにしています。ノイズを減らすためにNRを入れたいが残像が気になるので入れることができない場合などに有効です。

表　　示	調 整 内 容
OFF	NR(デジタルノイズリダクション処理)OFF
AUTO	NR レベル自動
MIN	NR レベル弱
LIGHT	↑
MIDDLE	NR レベル中
HIGH	↓
MAX	NR レベル強

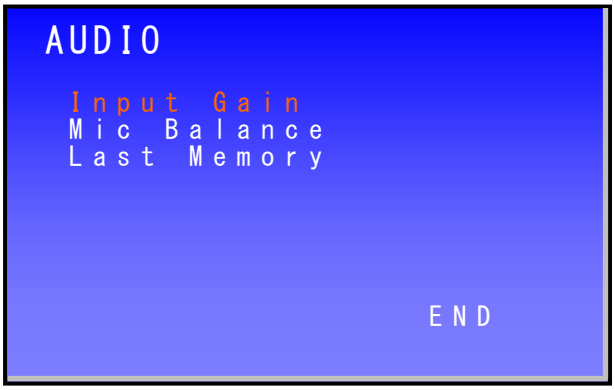
4-3-2　音声系入出力の各種設定

【AUDIOメニュー】

機 能　音声関連の各種設定メニュー

↳ Input Gain ⇔ Mic Balance ⇔ Last Memory ⇔ END ↰

説 明　音声関連の各項目の設定を行ないます。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- 各項目の詳細は次項から説明します。

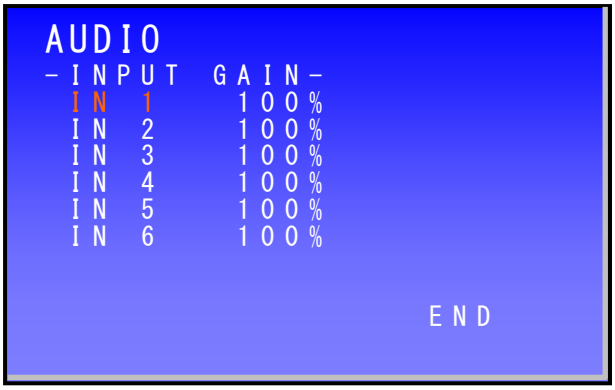


① AUDIO → INPUT GAIN

機 能　入力レベル個別調整

↳ IN1 ⇔ IN2 ⇔ IN3 ⇔ IN4 ⇔ IN5 ⇔ IN6 ⇔ END ↰

説 明　入力毎の音量に対して増減率を調整できます。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。

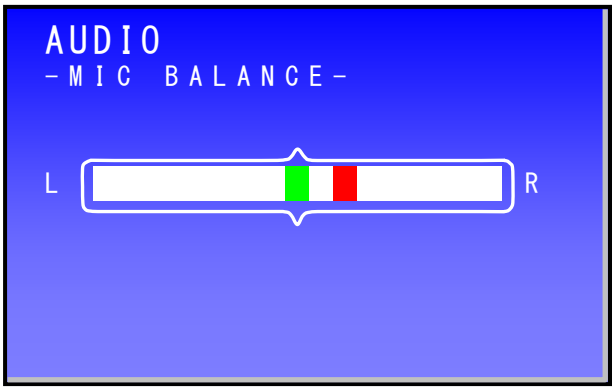


② AUDIO → MIC BALANCE

機 能 マイクバランス調整

説 明 マイク入力の左右音声のバランスを調整します。

- ツマミの回転操作で赤いカーソルが左右に動き、LRバランスを調整します。
- 緑のカーソル位置が現在の設定値です。
- 中央以外に設定されている場合、黄色のマークが左右の中央位置を示しています。
- 調整後、Enter(ツマミを押す)で決定します。



③ AUDIO → LAST MEMORY

機 能 起動時オーディオ音量選択

On ⇔ Off

説 明 本体起動時のオーディオ音量の選択を行ないます。

- On:通信やパラレル制御で設定された音量で起動します。
- Off:ツマミで設定されている音量で起動します。

4-3-3　通信系の各種設定

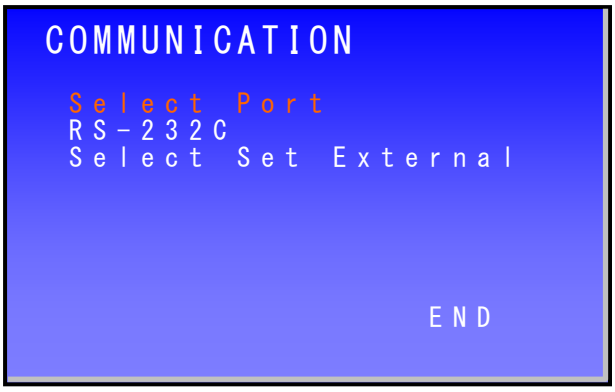
【COMMUNICATIONメニュー】

機　能　通信関連の各種設定メニュー

↪ Serect Port ⇔ RS-232C または Network ⇔ Select Set External ⇔ END ↩
(どちらか一方の表示になります)

説　明　通信関連の各項目の設定を行ないます。

- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- RS-232Cの項目はネットワーク選択時にはNetworkと表示されます。
- 各項目の詳細は次項から説明します。



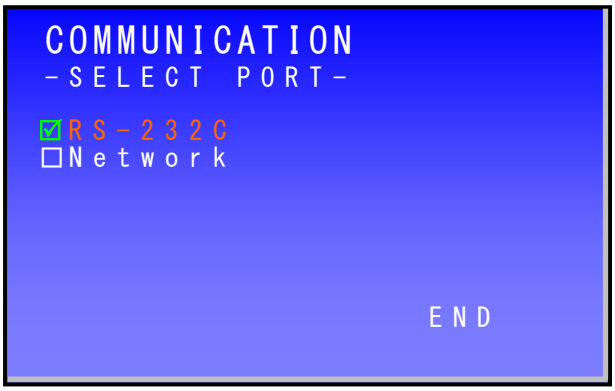
① COMMUNICATION → SELECT PORT

機　能　本体通信ポート選択

↪ RS-232C ⇔ Network ⇔ END ↩

説　明　有効にする本体の通信ポートを選択します。

- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- チェックのついている項目が現在の設定です。
- ENDで前のメニューに戻ります。



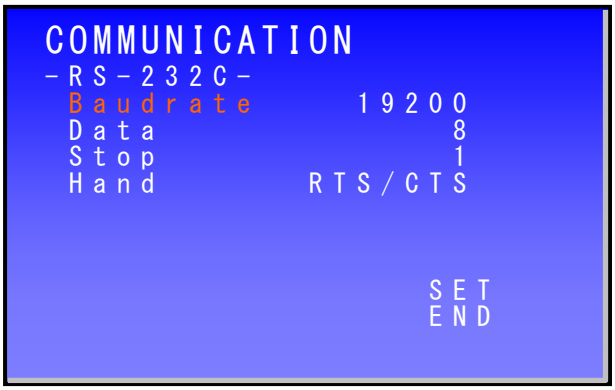
②−1 COMMUNICATION → RS-232C

機 能 本体RS-232C通信パラメータ設定

↳ Baudrate ⇔ Data ⇔ Stop ⇔ Hand ⇔ SET ⇔ END ↰

説 明 本体のRS-232C通信のパラメータ設定を行ないます。

- 選択後Enterによりパラメータの変更が可能になります。
- SETで設定が保存されます。
- ENDで前のメニューに戻ります。



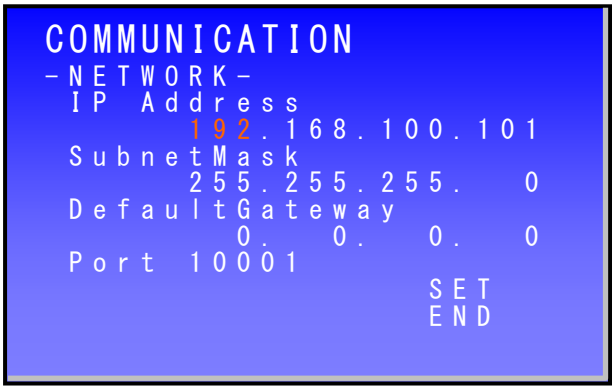
②−2 COMMUNICATION → NETWORK

機 能 本体ネットワーク設定

↳ IP Address ⇔ SubnetMask ⇔ DefaultGateway ⇔ Port ⇔ SET ⇔ END ↰

説 明 本体のネットワークの設定を行ないます。

- 選択後Enterにより数値の変更が可能になります。
- SETは変更した数値の設定が保存されます。
- このメニューは表示と設定の際に若干の時間(3〜5秒程)を必要とするため「Please Wait」のメッセージが表示されます。
- ENDで前のメニューに戻ります。



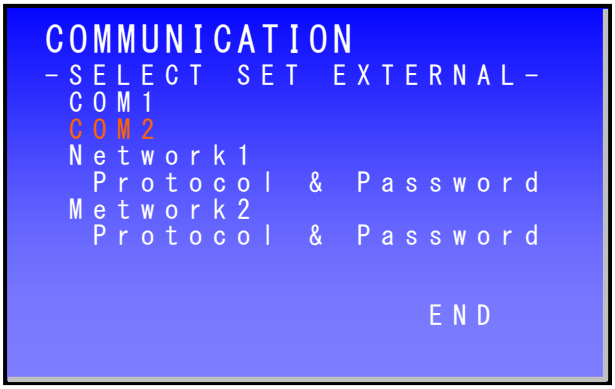
③ COMMUNICATION → SELECT SET EXTERNAL

機 能 外部機器制御設定メニュー

↳ COM1 ⇔ COM2 ⇔ Network1 ⇔ Protocol & Password ⇔ Network2 ⇔ Protocol & Password ⇔ END ↰

説 明 外部機器制御の各項目の設定を行ないます。

- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- 各項目の詳細は次項から説明します。



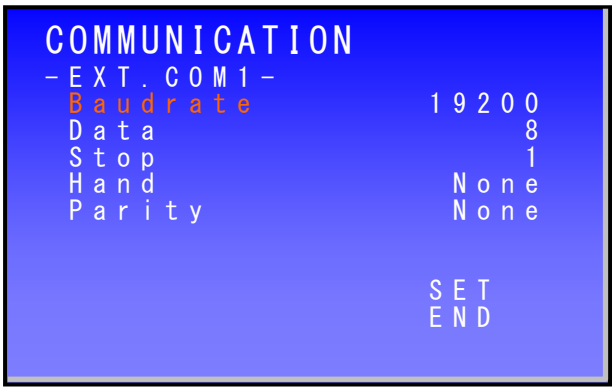
③−1 COMMUNICATION → SELECT SET EXTERNAL → COM1またはCOM2

機 能 外部機器シリアル通信制御設定

↳ Baudrate ⇔ Data ⇔ Stop ⇔ Hand ⇔ Parity ⇔ SET ⇔ END ↰

説 明 外部機器のシリアル通信制御(COM1またはCOM2)の設定を行ないます。

- 選択後Enterによりパラメータの変更が可能になります。
- SETは設定が保存されます。
- ENDで前のメニューに戻ります。



③−2 COMMUNICATION → SELECT SET EXTERNAL → NETWORK1またはNETWORK2

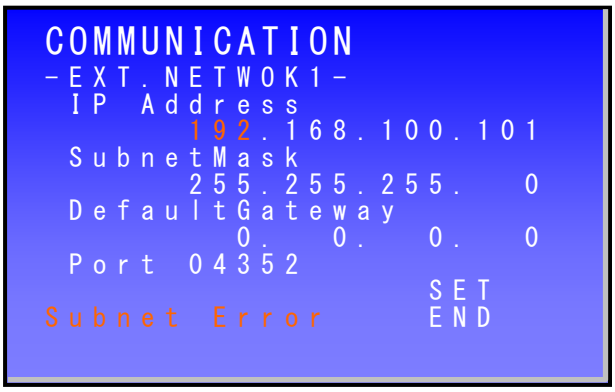
機 能 外部機器ネットワーク制御設定

↳ IPAddress ⇔ SubnetMask ⇔ DefaultGateway ⇔ Port ⇔ SET ⇔ END ↰

説 明 外部機器のネットワーク制御1(または2)の設定を行ないます。

- SETは設定が保存されます。
- 選択後Enterによりパラメータの変更が可能になります。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- NETWORK2も同様の設定になります。

- 左下赤文字のError表示はSET選択時に下記条件時に表示されます。
  Subnet Error:設定不能なサブネットマスク値が設定された場合に表示します。
  Connect Error:接続が行なえない場合に表示します。
- 以下はプロトコルがPJLink選択時に表示されます。
  Password Error:パスワードが異なる場合に表示します。
  Command Error:「POWR?」コマンドを受け付けない場合に表示します。



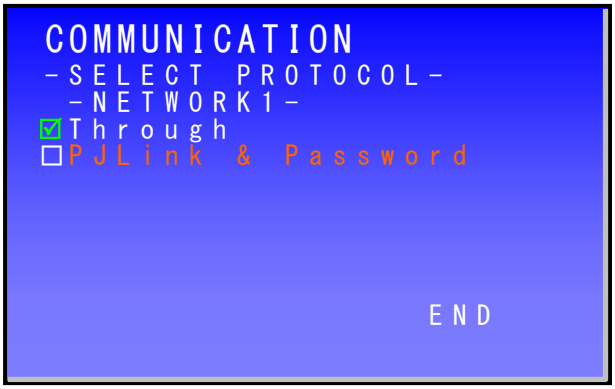
③−3 COMMUNICATION → SELECT SET EXTERNAL → PROTOCOL & PASSWORD

機 能 外部ネットワーク通信プロトコル設定

↳ Through ⇔ PJLink & Password ⇔ END ↰

説 明 外部ネットワークの通信プロトコルの設定(NETWORK1または2)を選択できます。

- Through:登録されているコマンドをそのまま送信します。
- PJLink & Password:登録されているコマンドをPJLinkの仕様で送信します。
  また、セキュリティーに必要なパスワードを設定できます。
  C1～6の登録コマンドは固定になります。
- NETWORK2も同様の設定になります。



■ PJLink時の各ボタンに割り当てられた機能

ボタン	機 能	コマンド
C1	Network1 に接続されたプロジェクタの電源 ON	%1POWER 1
C2	Network1 に接続されたプロジェクタの電源 OFF	%1POWER 0
C3	Network1 に接続されたプロジェクタの情報取得	%1ERST? 500msWait %1LAMP?
C4	Network2 に接続されたプロジェクタの電源 ON	%1POWER 1
C5	Network2 に接続されたプロジェクタの電源 OFF	%1POWER 0
C6	Network2 に接続されたプロジェクタの情報取得	%1ERST? 500msWait %1LAMP?

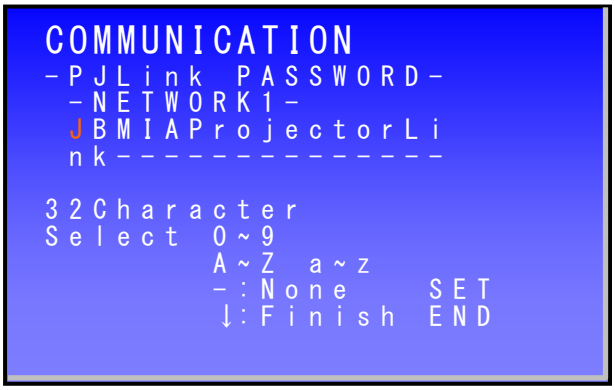
③−4 COMMUNICATION → SELECT SET EXTERNAL → PROTOCOL & PASSWORD → PJLink PASSWORD

機 能 PJLinkパスワード設定

↳ パスワードを1文字づつ **選択** ⇔ SET ⇔ END ↰

説 明 プロトコルにPJLinkが選択された時のPJLinkパスワードを設定します。

- 選択後Enterによりパラメータの変更が可能になります。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- パスワードは英数字を設定できます。↓を選択し決定すると以降の文字が “-“(なし)になります。
- プロジェクタがパスワードを要求しない場合この設定は無効になります。(変更する必要はありません)
- NETWORK2も同様の設定になります。

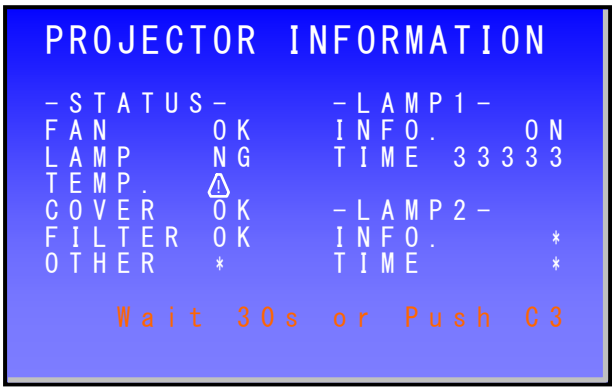


③−5 PJLink選択でC3またはC6実行時の表示

機 能 PJLinkプロジェクタ情報表示

説 明 プロトコルにPJLinkを選択している場合、C3またはC6でプロジェクタの情報を表示します。

- 表示内容はエラー情報,ランプの状態,ランプの使用時間です。
  (ランプ情報は2灯まで対応しています。)
- エラー情報は3種類あります。OK:正常、NG:異常、 :警告⚠
- 情報が取得できない場合は「*」で表示されます。
- 30秒間表示されますが、すぐに表示を消したい場合にはC3(C6)ボタンを再度押します。



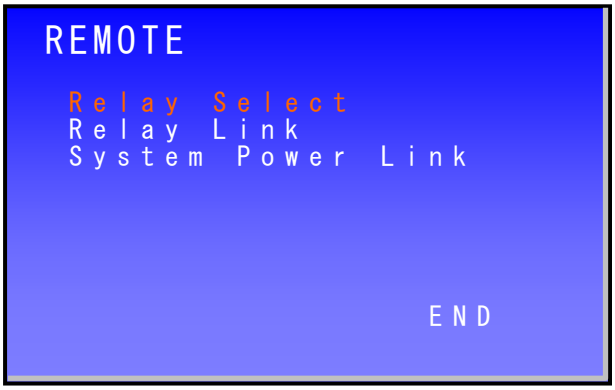
【REMOTEメニュー】

機 能 リモートボタン関連の各種設定メニュー

↳ Relay Select ⇔ Relay Link ⇔ System Power Link ⇔ END ↰

説 明 リモートボタンの各項目を設定します。

- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- 各項目の詳細は次項から説明します。



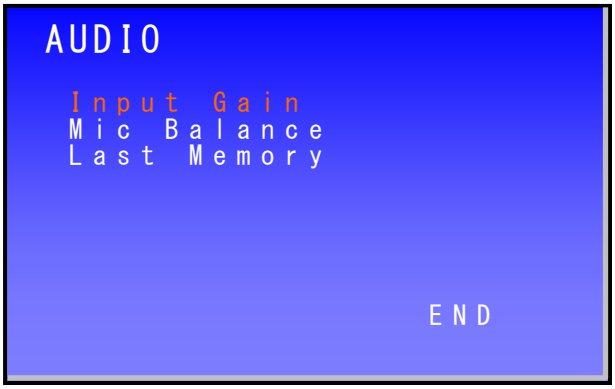
① REMOTE → RELAY SELECT

機 能 リレー動作モード選択

↪ R1 ⇔ R2 ⇔ R3 ⇔ END ↩
リレーの選択後ツマミの回転操作により ↪ Mom ⇔ Alt ↩ を選択します。

説 明 R1～R3のリレーの動作モードを選択します。

- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。決定するとリレーの選択に戻ります。
- チェックマークのあるボックスが現在の設定です。
- Momentary:ボタンを押している間リレーがCloseします。
- Alternate:ボタンを押すたびにリレーのOpen/Closeが反転動作します。
- モーメンタリー動作はボタンと通信で動作が一部異なります。
  詳細は31ページ「■リレー制御について」の項を参照してください。
- ENDで前のメニューに戻ります。



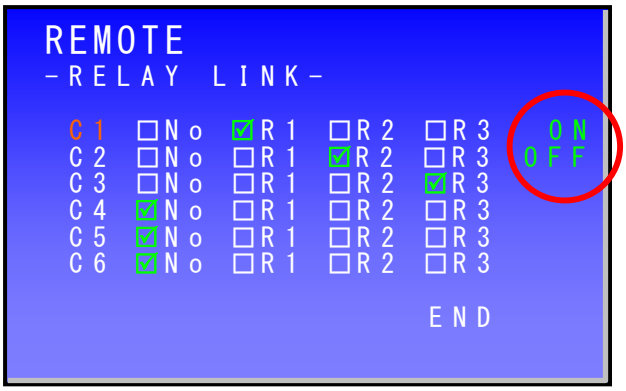
② REMOTE → RELAY LINK

機 能 ボタン・リレー連動動作設定

↪ C1 ⇔ C2 ⇔ C3 ⇔ C4 ⇔ C5 ⇔ C6 ⇔ END ↩
C1～6の選択後ツマミの回転操作により ↪ No ⇔ R1 ⇔ R2 ⇔ R3 ↩ を選択します。

説 明 C1～6ボタンに連動動作するリレー(R1～3,なし)を選択設定します。

- チェックマークのあるボックスが現在の設定です。
- リンクを選択するとC1～6の選択に戻ります。
- “No”は、連動なしの設定です。
- 選択したリレーがオルタネート動作時にはON/OFFの選択も行ないます。
- オルタネート動作のリレーにはON/OFFが表示され選択が可能になります。
- ENDで前のメニューに戻ります。



オルタネート
動作時に表示

③ REMOTE → SYSTEM POWER LINK

機 能 システム電源制御設定

↳ On ⇔ Off ⇔ On Wait ⇔ Off Wait ⇔ END ↰
On/Offの選択後 ↳ NO ⇔ C1(C2) ⇔ C4(C5) ⇔ C1&C4(C2&C5) ↰

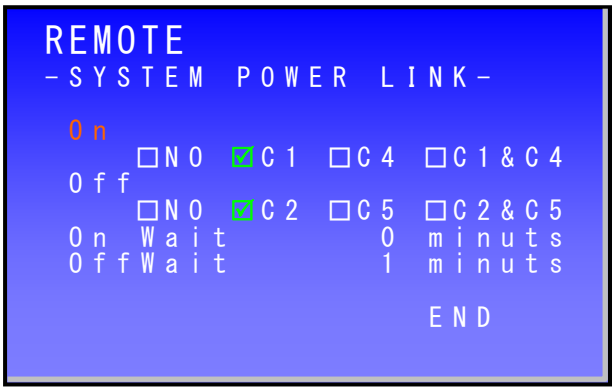
説 明 パワーディストリビュータの制御とリンク機能の設定です。

- リンク選択すると最初の選択に戻ります。
- チェックマークのあるボックスが現在の設定です。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- On Wait/Off Waitの選択後ツマミの回転操作により1分単位で時間を設定できます。
  時間を設定すると最初の選択に戻ります。
- On/Offの選択によりR4のOn/Offに連動するリモートコマンドを選択できます。

例.
R4をON:パワーディストリビュータON ⇒ 本体起動処理(10秒程)(ネットワーク初期化)
⇒ On Wait(0～15分)(プロジェクタの起動待ち) ⇒ C1ボタン(プロジェクタ ON)
⇒ R1ボタン(スクリーンダウン)⇒ C4ボタン(LCDモニタ ON)

R4をOFF:C2ボタン(プロジェクタ OFF) ⇒ R3ボタン(スクリーンアップ)
⇒ C4ボタン(LCDモニタ OFF) ⇒ Off Wait(0～15分)(プロジェクタのクーリング)
⇒ パワーディストリビュータOFF

- 本体が起動時にシステムパワーボタンがONの場合システムパワーボタンによる起動処理を行ないます。
- ON時は電源投入後すぐにプロジェクタがコマンドを受け付けない可能性があるため、Wait時間を設定します。
- OFF時はプロジェクタのクーリング時間後パワーディストリビュータの電源を切るために設定します。



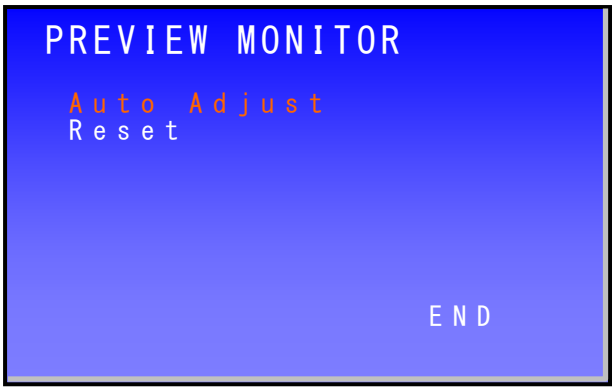
4-3-4　プレビューモニタの設定

【PREVIEW MONITORメニュー】

機 能　プレビューモニタ関連の設定メニュー

↳ Auto　Adjust ⇔ Reset ↰

説 明　プレビューモニタの設定メニューです。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- 各項目の詳細は次項から説明します。

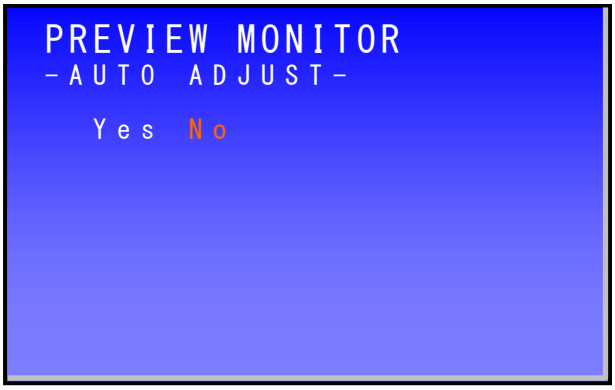


① PREVIEW MONITOR→AUTO ADJUST

機 能　プレビューモニタ自動調整

↳ Yes ⇔ No ↰

説 明　プレビューモニタに表示されている入力映像を自動調整します。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- 表示映像の位置等がずれている場合に実行してください。
- ENDで前のメニューに戻ります。



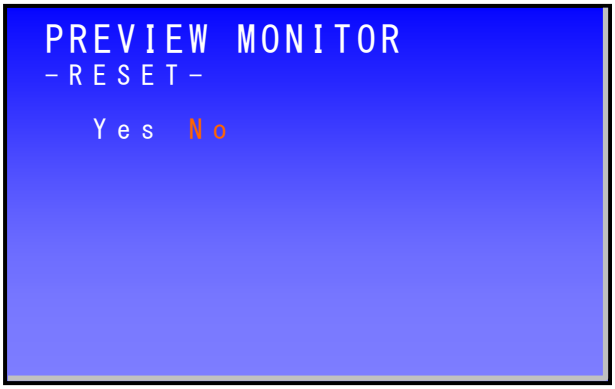
② PREVIEW MONITOR → RESET

機 能 プレビューモニタ初期化

↳ Yes ⇔ No ↰

説 明 プレビューモニタの表示設定を工場出荷設定に戻します。

- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- プレビューモニタは、入力信号を自動判別して最適な状態に表示していますが、仕様外の信号が入力された場合など、表示位置や明るさなどがずれた状態を記憶してしまう場合があります。このような場合はプレビューモニタの設定を初期化してください。
- Enter(ツマミを押す)で決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。



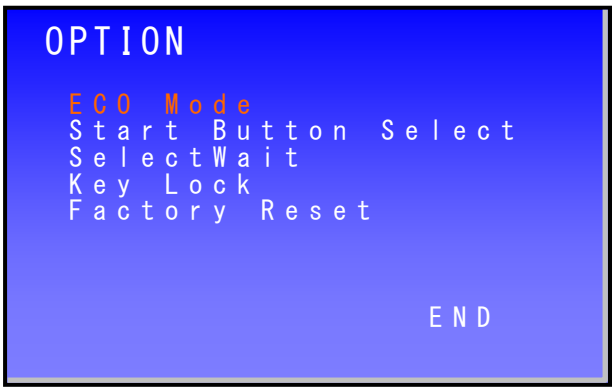
4-3-5　オプション設定

【OPTIONメニュー】

機　能　各種オプション設定メニュー

↳ ECO Mode ⇔ Start Button Select ⇔ Select Wait ⇔ Key Lock ⇔ Factory Reset ⇔ END ↰

説　明　各種オプションの設定を行ないます。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。
- 各項目の詳細は次項から説明します。

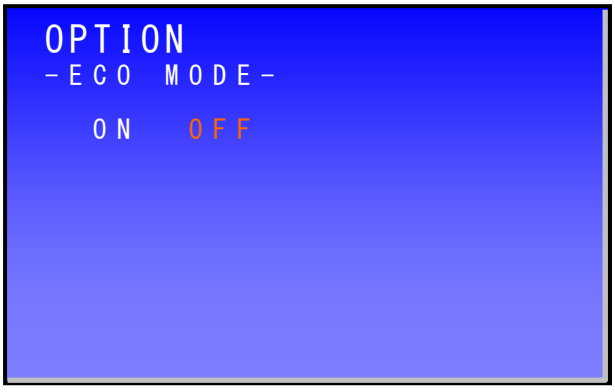


① OPTION → ECO MODE

機　能　プレビュー自動OFF機能

↳ ON ⇔ OFF ↰

説　明　選択したプレビューボタンの自動OFF機能。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- この機能をONにした場合、プレビュー操作を3分間行わないと自動的にプレビューボタン選択がOFFになります。
- 映像選択ボタンをOFFにしたときに同期出力が停止します。接続モニタへの省電力誘導になります。
- ENDで前のメニューに戻ります。



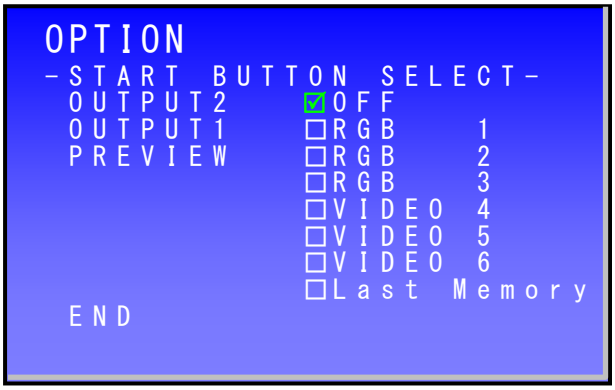
② OPTION → START BUTTON SELECT

機 能 起動ボタン選択

↳ OUTPUT1 ⇔ OUTPUT2 ⇔ PREVIEW ↰

説 明 電源投入時にどの選択ボタンで起動するかを指定できる機能です。

- 各出力ごとに(OUTPUT1、OUTPUT2、PREVIEW)独立して指定できます。
- チェックマークのあるボックスが現在の設定です。
- “Last Memory”は、電源を切る直前の選択ボタンの状態で起動することを意味します。
- 選択後Enterにより OFF,RGB1～3,VIDEO4～6,Last Memoryが選択可能になります。
- ENDで前のメニューに戻ります。



③ OPTION → SELECT WAIT

機 能 ボタン待機時間設定

↳ 0.4(設定値により変化) ⇔ SET ⇔ END ↰

説 明 選択ボタン変更時の待機時間を設定できます。

- 同期信号が切り換わるとプロジェクタの自動スキャンが実行され一時的に映像が乱れることがありますが、Waitを設定することでこれをマスクできます。
- NTSCとPALが混在した際の選択ボタン変更時に起きる映像の乱れをマスクできます。
- 数値選択後ツマミの回転で変更し、Enter後のSETで決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。

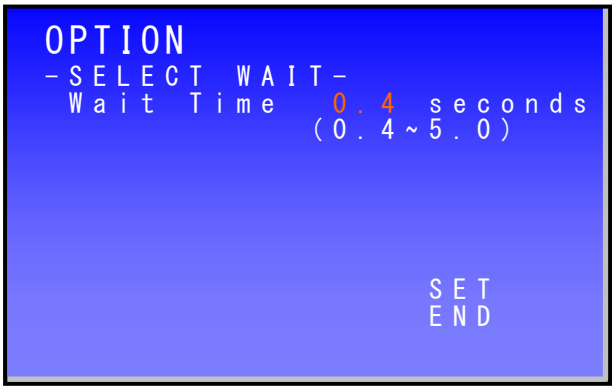
映像切り換えシーケンス

映像ミュートON ⇒ ①Wait100ms ⇒ 同期切り換え ⇒ ②Wait250ms ⇒ Wait追加 ⇒ 映像ミュートOFF

設定するWait Timeはシーケンス全体での時間になります。

追加Waitが0sの時に切り換え時間が0.4sで0.1s単位での時間追加になります。

プロジェクタによってはミュートOFF後映像の位置調整を行う場合があるため、一度表示してプロジェクタ自身がミュートする場合があります。



④ OPTION → KEY LOCK

機 能　キー(ボタン)入力ロック

↳ Yes ⇔ No ↰

説 明　OUT1,2の選択ボタン,プレビュー選択ボタン,C1～C6,R1～R3のボタン機能をロックします。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- ENDで前のメニューに戻ります。

⑤ OPTION → FACTRY RESET

機 能　設定初期化

↳ Yes ⇔ No ↰

説 明　本体のメニューで操作するすべての設定を工場出荷状態に初期化します。
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。

FACTORY RESET再確認
- 選択後、Enter(ツマミを押す)で決定します。
- 本体のメニューで操作するすべての設定を初期化します。
- Yesを選択すると時間経過の「*」マークが表示され、赤い「*」が表示されると自動的に終了します。

【５】制　御

５－１　本　体　制　御

■ 本機の操作をパソコン等によるシリアルI/Fやネットワークを使用してリモート操作することが可能です。

本体制御端子のRS-232CとLANのポートはメニュー操作による切り換え式です。
同時使用はできませんのでご注意下さい。

(1)RS−232C

● 通信条件

通　信　方　式	シリアル通信 RS-232C準拠
通　信　速　度	9600／19200／38400／57600bps
伝　送　方　式	調歩同期(非同期)伝送
スタートビット	1ビット
ストップビット	1／2ビット
デ ー タ ビ ッ ト	7／8ビット
パリティビット	なし
フ ロ ー 制 御	RTS-CTS／なし
デ ー タ コ ー ド	ASCIIコード

(2)LAN

● 通信条件

プ ロ ト コ ル	TCP/IP(Socket接続)
通　信　速　度	10 Mbps／100 Mbps
ポ ー ト 番 号	10001
デ ー タ コ ー ド	ASCIIコード

・電源投入後からの通信可能時間
　シリアル通信:7秒以上、ネットワーク通信:10秒以上

・本体の制御にはRS-232C制御とNetwork制御をメニューにより切り換えてどちらか一方で行ないます。
　この設定により外部制御が可能な通信方法が決まります。

・Network制御は30秒間コマンド受信が行われないと強制的に接続を切断します。

・Network制御は外部Networkポートからコマンド送信が行われると強制的に接続を切断します。
　(Network制御を行う場合制御機器は再接続処理を行う必要があります。)

・「X」、「P」、「R」コマンド実行時のACKは登録コマンド処理前に戻しています。
　コマンド登録がない場合は処理の終了を意味しますが、コマンド登録がある場合には処理終了時間は登録されたコマンドの内容によって変化します。

(3)パラレルリモート

無電圧接点制御(GND への短絡／開放)を行うことによりフロントパネルのボタンと同様のシーケンスで制御が行ないます。(操作に従ってボタンの LED が点灯します。)
ただし、本体電源スイッチの ON/OFF はできません。
ピン配列は、40 ページ「【6】コネクター信号表」の項を参照してください。

５－２　外部接続機器制御

■ 外部機器制御(COM1・COM2・Network1・Network2)

・本体により接続された外部の機器を制御できます。
・制御条件があります。

本体通信選択	外部制御可能通信	プロトコル選択	C1～C6 の登録	他のボタンの登録
RS-232C	COM1・COM2		ユーザー登録	ユーザー登録
Network	COM1・COM2 Network1・Network2	Through	ユーザー登録	ユーザー登録
		PJLink	固定	ユーザー登録

・プロトコルにPJLinkが選択されている場合Network1,2の通信プロトコルはPJLink仕様になります。
・Network1／Network2はコマンド送受信時のみ外部機器への通信接続を行ないます。
(通信が終了すると強制的に切断します。)
・外部機器の処理終了は確認しません。
・外部機器の制御をネットワークで行う場合、本体のネットワークと外部機器のネットワークのアドレスは同一グループに設定してください。

■ 本機から外部に接続された機器をシリアルI/Fを使用してリモート操作が可能です。

(1)RS－232C

● 通信条件

通　信　方　式	シリアル通信 RS-232C準拠
通　信　速　度	9600／19200／38400／57600bps
伝　送　方　式	調歩同期(非同期)伝送
スタートビット	1ビット
ストップビット	1／2ビット
データビット	7／8ビット
パリティビット	なし／ODD(奇数)／EVEN(偶数)
フロー制御	RTS-CTS／なし
データコード	ASCIIコード

(2)接点リモート

無電圧接点制御(短絡／開放)を行うことにより、フロントパネルのR1～R4ボタンの操作で外部接続機器の制御が行なえます。
ピン配列は、40 ページ「【6】コネクター信号表」の項を参照してください。

■ リレー制御について

・リレーは本体起動時には必ずOFF設定になります。(本体が電源OFF時はリレーはOFFです。)
・リレーの動作には2種類あり制御方法により動作が変化します。

リレー動作	制御方法	ON 状態	OFF 状態	備　考
モーメンタリー動作	ボタン／パラレル	押して ON 離して OFF	押して ON 離して OFF	動作は常に同じ処理
	通信／リンク	リレーON → Wait500ms → リレーOFF		
オルタネート動作	ボタン／パラレル／通信	リレーOFF	リレーON	現在の状態に対し反転処理
	リンク ON 設定	リレーON	リレーON	リンクの設定に依存
	リンク OFF 設定	リレーOFF	リレーOFF	

5-3　通信コマンド

5-3-1　コマンド一覧

・全てのデータは[ASCII]キャラクターで転送します。
・コマンド実行のための実行コードは 'CR' (0Dh)です。 ※ '↵'は 'CR' を表します。
・ACKは '#' が戻ります。
　ただし、外部機器制御が行われる場合、外部機器制御の処理前にACKが戻ります。
・戻り値に対しては戻り値の後に '#' がつきます。

コマンド(HEX)	動　作
X(58h)	指定した出力に指定の入力信号の切り換えと入力信号の取得
P(50h)	プレビュー出力に指定の入力信号の切り換えと入力信号の取得
R(52h)	ボタンに登録されたリモートコマンドを実行
V(56h)	AUDIO音量の設定と現在の設定値を取得

5-3-2　コマンド詳細

Xコマンド(出力選択)			
説　　明		指定の出力を指定の入力番号に切り換えます。 また、指定の出力に選択されている入力番号を取得します。 パラメータ／[*output*]1,2 [*input*]0～6(OFF=0,INPUT1=1 ～ INPUT6=6)	
コマンド形態		【切換】X[*output*]=[*input*]↵ ／ 【取得】X[*output*]↵	
戻　り　値		#	
例1	送信	出力1に入力1番を選択します。	
		ASCII	X1=1↵
		HEXコード	58h31h3Dh31h0dh
	受信	#	
例2	送信	出力1の入力選択番号を調べます。	
		ASCII	X1↵
		HEXコード	58h31h0dh
	受信	1#	

Pコマンド(プレビュー選択)			
説　　明		プレビュー出力を指定の入力番号に切り換えます。 また、プレビュー出力に選択されている入力番号を取得します。 パラメータ／[*input*]0～6(OFF=0,INPUT1=1 ～ INPUT6=6)	
コマンド形態		【切換】P[*input*] ↵ ／【取得】P ↵	
戻　り　値		#	
例1	送 信	プレビュー出力に入力1番を選択します。	
		ASCII	P1 ↵
		HEXコード	50h31h0dh
	受 信	#	
例2	送 信	プレビュー出力の入力選択番号を調べます。	
		ASCII	P ↵
		HEXコード	50h0dh
	受 信	1#	

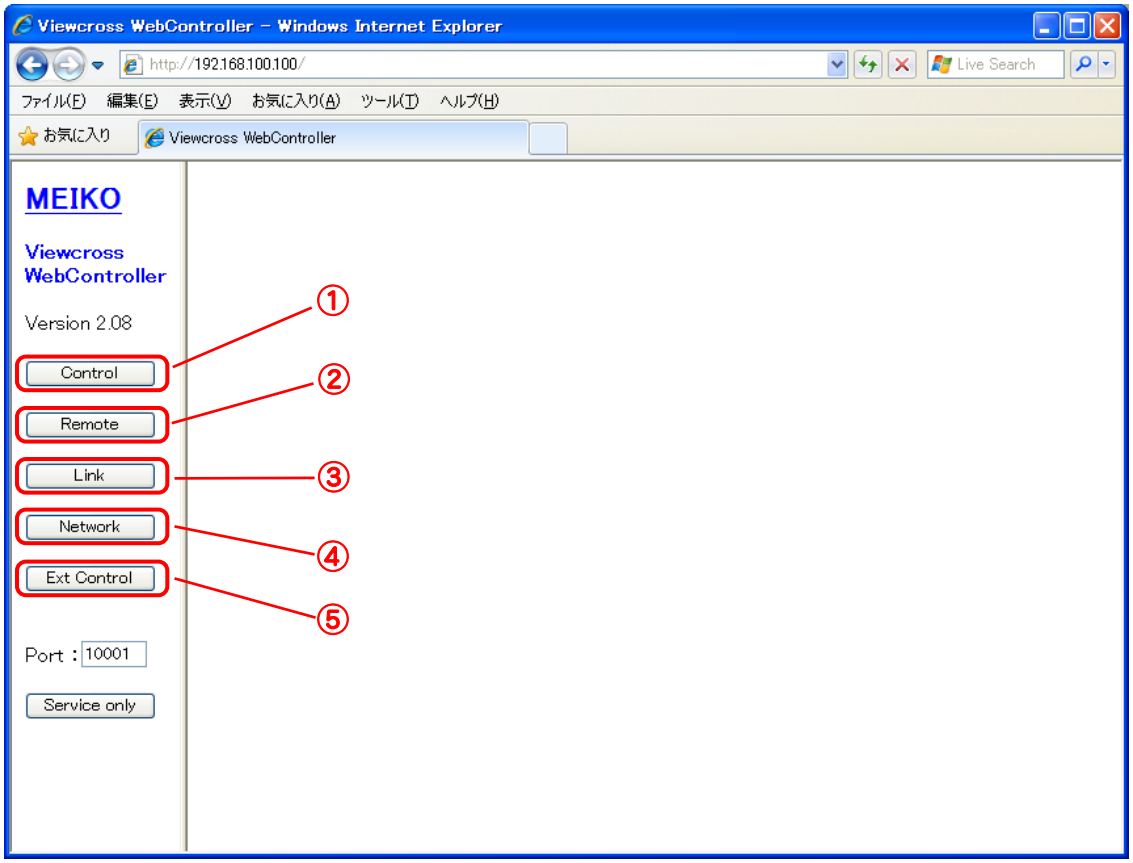
Rコマンド(外部機器制御)			
説　　明		指定のリモート番号にあらかじめ登録されているコマンドを送信します。 ※送信するコマンドはWebアプリケーションにより登録が必要です。(36ページ「5-4-3」項参照) パラメータ／[*remote*]　*remote*=1～9 (1～6:C1～C6、7～9:R1～R3) リレーの動作がモーメンタリーに設定されている場合 ON → Wait500ms → OFF で動作します。	
コマンド形態		R[*remote*] ↵	
戻　り　値		#	
例1	送 信	リモート1(C1ボタン)に登録されているコマンドを外部通信端子より送信します。	
		ASCII	R1 ↵
		HEXコード	52h31h0dh
	受 信	#	

Vコマンド(AUDIO音量調整)			
説　　明		AUDIO音量を変更します。 また、現在のAUDIO音量の設定値を確認します。 パラメータ／[*volume*]0～255	
コマンド形態		【切換】V[*volume*] ↵ ／【取得】V ↵	
戻　り　値		#	
例1	送 信	AUDIO音量を128にします。255の時6dB	
		ASCII	V128 ↵
		HEXコード	56h31h32h38h0dh
	受 信	#	
例2	送 信	AUDIO音量の設定値を調べます。	
		ASCII	V ↵
		HEXコード	56h0dh
	受 信	128#	

5-4　ネットワーク接続

5-4-1　Webコントローラ

本機はWebブラウザによるコントローラを搭載しています。
ブラウザのアドレスに本機のIPアドレスを入力し接続してください。
正常に接続すると、下記画面が表示されます。



本アプリケーションでは以下の操作ができます。

① Controlボタン ---------- 出力切り換え,音量調整,リモートコマンド操作
(35ページ「5-4-2」項参照)

② Remoteボタン ---------- リモートコマンド登録,編集及びリモートポート設定
(36ページ「5-4-3」項参照)

③ Linkボタン---------- リモートコマンドの連動動作設定
(37ページ「5-4-4」項参照)

④ Networkボタン---------- 通信設定
(38ページ「5-4-5」項参照)

⑤ Ext Controlボタン ---------- 外部制御設定
(39ページ「5-4-6」項参照)

各項目を操作するには『Port』を本体の設定と合わせ、左側の各ボタンをクリックしてください。
(初期値は10001です)

5-4-2　出力切り換え

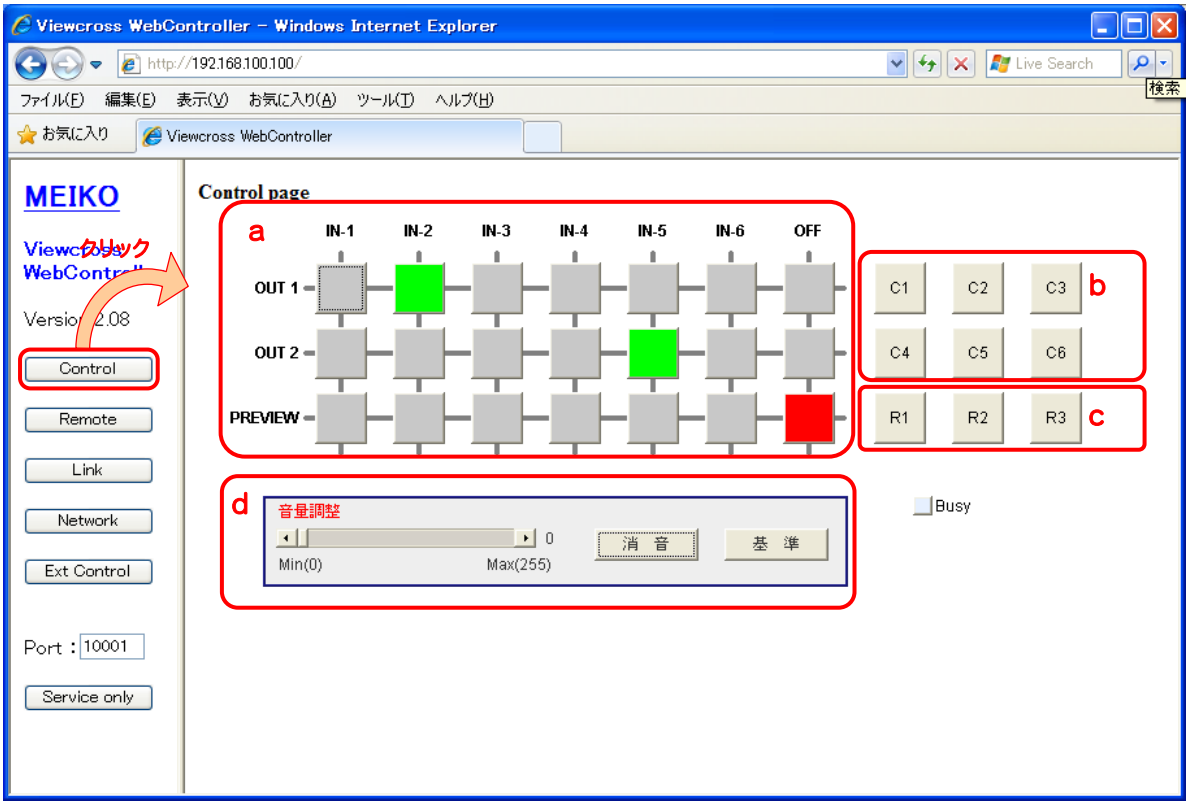
● Control ボタンをクリックします。ウィンドウ右側ペインに Control page が表示されます。
出力切り換え,音量調整,リモートコマンドの操作が行なえます。

枠a. 出力切り換え
切り換えたい出力(OUT 1,2,PREVIEW)と入力(IN-1～6,OFF)の交点のボタンをクリックしてください。
選択中のボタンは緑色に変わります。(OFF の場合は赤色)

枠b. リモートコマンドの出力
操作したいボタンをクリックしてください。
C1～C6ボタンに登録されているリモートコマンドを出力します。

枠c. リレー接点の出力
操作したいボタンをクリックしてください。
REMOTE R1～R3が動作します。
オルタネート／モーメンタリー動作は本体設定に依存します。
(23 ページ「 ① REMOTE → RELAY SELECT 」の項を参照)

枠d. 音量調整
音量の変更をスライドバーで行ないます。
消音ボタンを押すと音量 0 に、基準ボタンを押すと音量が中間値に変わります。



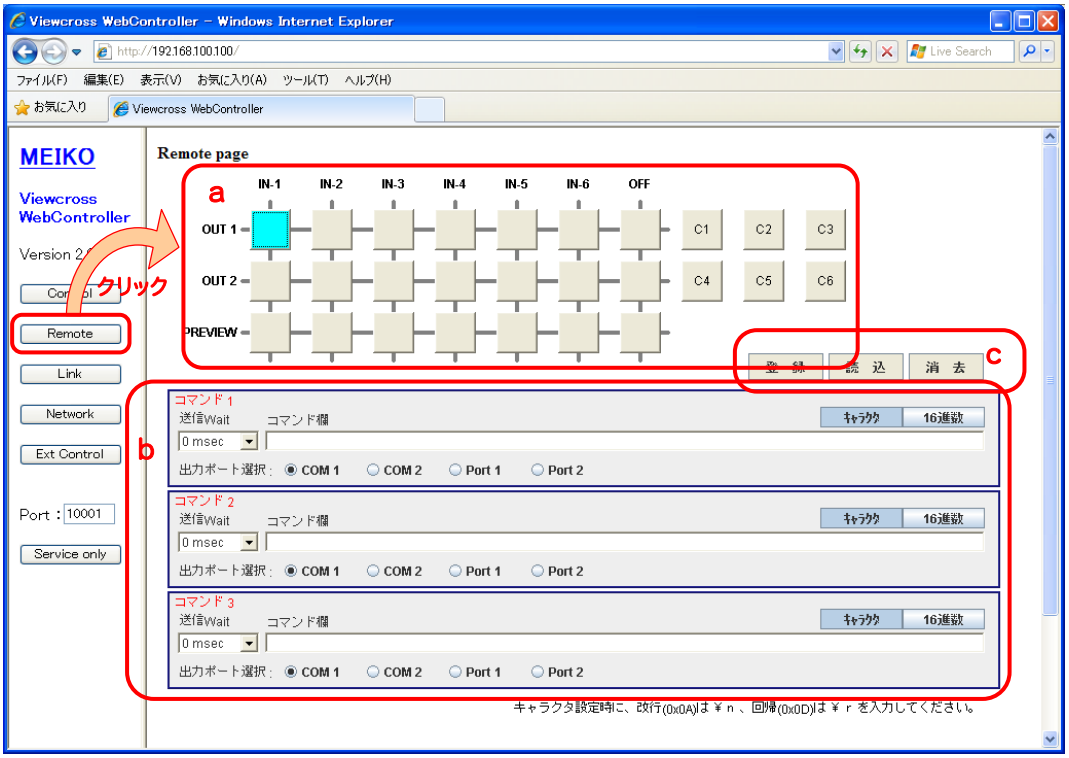
5-4-3　リモートコマンドの設定

● Remote ボタンをクリックします。ウィンドウ右側ペインに Remote page が表示されます。
出力選択ボタン,C1～C6ボタンへのリモートコマンドの登録,確認ができます。
リモートコマンドは3つまで登録できます。

【 登録 】
・各ボタンにコマンドを登録します。
手順1. 登録したいボタンを図のa枠内から選択します。選択中のボタンは水色に変わります。
手順2. コマンドをキャラクタで登録する場合は、キャラクタボタンを選択します。16 進数で登録する場合は 16 進数ボタンを選択します。
手順3. コマンドを送信する前に wait を入れることができます。送信 wait をドロップダウンリストで選択します。
0msec,50msec,100msec,500msec,1sec,3sec,5sec から選択できます。
手順4. 出力するポートを選択します。COM1,COM2,Network1,Network2 から選択できます。
手順5. コマンド欄に登録したいコマンドを入力します。
手順2でキャラクタを選択中の場合は、半角文字で入力し、改行コードや回帰コードを使用する場合は、”¥r”,”¥n”を入力してください。
例:PON¥r¥n → 0x50,0x4F,0x0D,0x0A
手順2で 16 進数を選択中の場合は、16 進数文字を連続して入力してください。
例:02FEA0 → 0x02,0xFE,0xA0
手順6. c枠内の登録ボタンをクリックします。コマンド欄に入力が無い場合はそこまでしかコマンドは出力しません。例えばコマンド1と3のみコマンドが入力されている場合はコマンド2と3は出力されません。

【 読込 】
・各ボタンに登録してあるコマンドを読込みます。
手順1. 読込みたいボタンをa枠内から選択します。選択中のボタンは水色に変わります。
手順2. c枠内の読込ボタンをクリックしてください。読込んだコマンドとコマンド設定がb枠内に表示されます。

【 消去 】
・各ボタンに登録してあるコマンドを消去します。
手順1. 消去したいボタンをa枠内から選択します。選択中のボタンは水色に変わります。
手順2. c枠内の消去ボタンをクリックしてください。選択したボタンのコマンドがすべて消去されます。

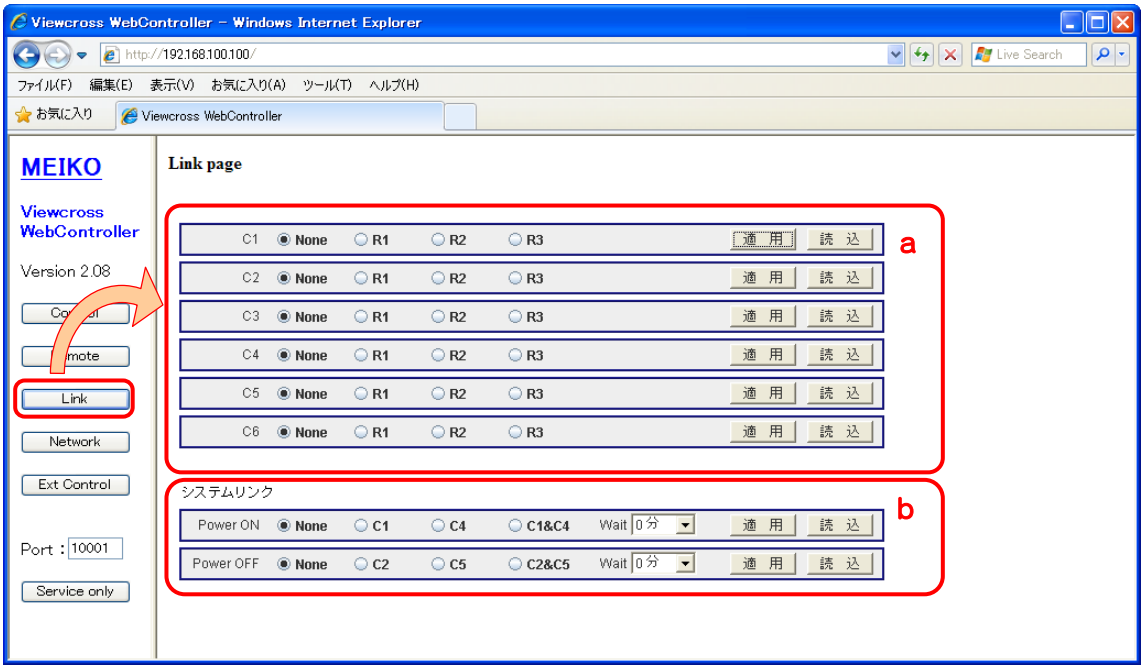


5－4－4　リンク設定

● Link ボタンをクリックします。ウィンドウ右側ペインに Link page が表示され、現在の設定値が表示されます。

枠a. C1～C6ボタンを操作した際の連動動作を設定できます。
設定したいリレー接点を R1～R3 から選択します。設定しない場合は None を選択してください。
リレー接点の動作がオルタネートの場合は、動作設定リストが表示されます。
連動動作時にオープンにしたい場合は OFF を、メイクしたい場合は ON を選択してください。
変更した内容を設定するには、適用ボタンを選択します。現在の状態を表示するには読込ボタンを選択してください。

枠b. SYSTEM POWER ボタンを操作した際の連動動作を設定できます。連動動作は ON 操作時と OFF 操作時、別々に設定できます。
設定したいリモートコマンドを選択します。設定しない場合は None を選択してください。
リモートコマンドを動作させる前に wait を入れることができます。wait をドロップダウンリストで選択します。
0分～15分が選択できます。
変更した内容を設定するには、適用ボタンを選択します。現在の状態を表示するには読込ボタンを選択してください。

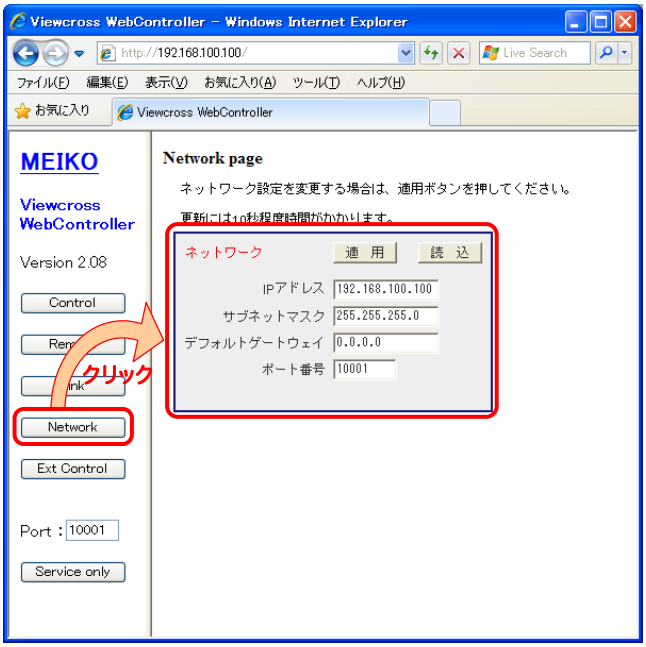


5-4-5　通信設定

● Network ボタンをクリックします。ウィンドウ右側ペインに Network page が表示され、現在の設定値が表示されます。

本機の通信設定を行ないます。
設定可能な項目は以下の通りです。(カッコ内は初期設定値)

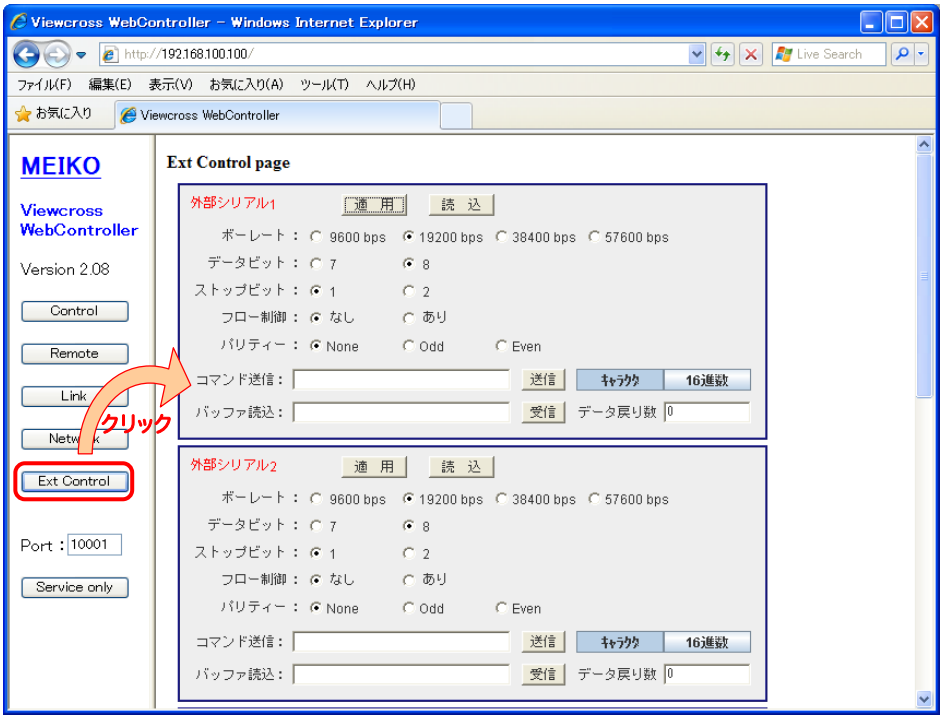
- IP アドレス(192.168.100.100)
- サブネットマスク(255.255.255.0)
- デフォルトゲートウェイ(0.0.0.0)
- ポート番号(10001)



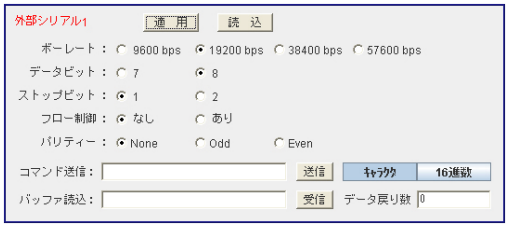
変更したい項目の数値を編集し、適用ボタンを押してください。
現在の状態を表示するには、読込ボタンを押してください。

5-4-6　外部機器通信設定

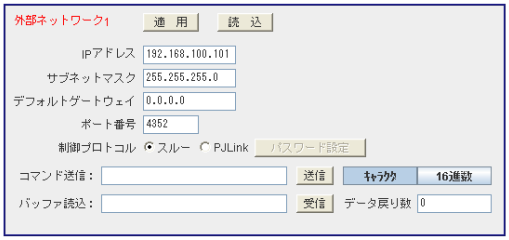
● Ext Control ボタンをクリックします。ウィンドウ右側ペインに Ext Control page が起動し、現在の設定値が表示されます。



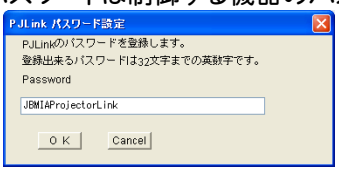
■ 外部機器制御用 RS-232C ポートの設定
ボーレート,データビット,ストップビット,フロー制御,パリティを選択し、適用ボタンを押してください。



■ 外部機器制御用ネットワークポートの設定
IP アドレス,サブネットマスク,デフォルトゲートウェイ,ポート番号,制御プロトコルを選択し、適用ボタンを押してください。
制御プロトコルで PJLink を選択した場合は、機器と通信するためのパスワードが設定できます。

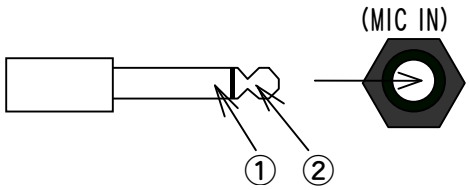


■ PJLink パスワード設定
パスワードボタンをクリックします。下のウィンドウが表示されるので、パスワードをテキスト欄に入力して OK ボタンを押してください。
パスワードは制御する機器のパスワードです。



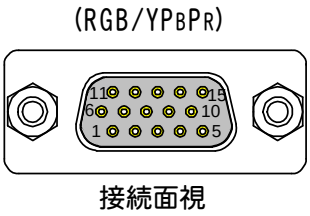
【6】コネクタ信号表

6-1 マイク接続端子 ---------- モノラル標準ジャックΦ6．3

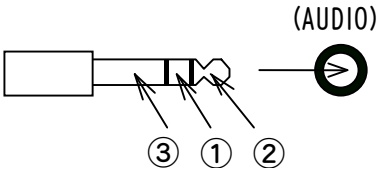


ピン番号	信　号　名
1	GND
2	MIC_{IN}

6-2 入力端子3 ---------- 映像/HD D-SUB15ピンメス 音声/ステレオミニジャックΦ3．5

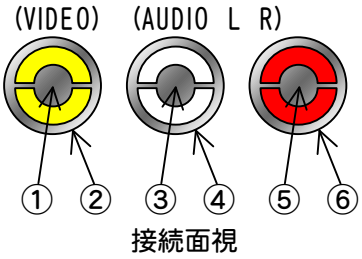


ピン番号	信　号　名	ピン番号	信　号　名	ピン番号	信　号　名
1	R_{OUT} (PR_{OUT})	6	R_{GND} (PR_{GND})	11	未接続
2	G_{OUT} (Y_{OUT})	7	G_{GND} (Y_{GND})	12	未接続
3	B_{OUT} (PB_{OUT})	8	B_{GND} (PB_{GND})	13	HD_{OUT}
4	未接続	9	未接続	14	VD_{OUT}
5	GND	10	HV_{GND}	15	未接続



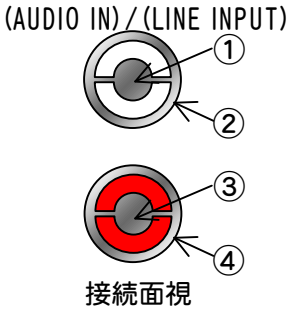
ピン番号	信　号　名
1	R
2	L
3	GND

6-3 入力端子6 ---------- 映像・音声/RCAタイプピンジャック



ピン番号	信　号　名
1	$VIDEO_{IN}$
2	GND
3	AUDIO L_{IN}
4	GND
5	AUDIO R_{IN}
6	GND

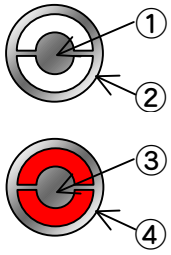
6-4 音声入力/ライン入力端子 ---------- RCAタイプピンジャック



ピン番号	信　号　名
1	AUDIO L_{IN}
2	GND
3	AUDIO R_{IN}
4	GND

6-5 音声出力端子 ―――――――――――――――――――――――――――――――― RCAタイプピンジャック

(AUDIO OUT)

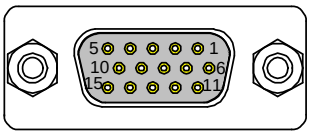


接続面視

ピン番号	信　号　名
1	AUDIO L_{OUT}
2	GND
3	AUDIO R_{OUT}
4	GND

6-6 プレビュー接続端子 ―――――――――――――――― RGB/HD D-SUB15ピンメス・VIDEO/BNC

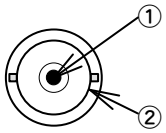
(RGB/YPBPR)



接続面視

ピン番号	信　号　名	ピン番号	信　号　名	ピン番号	信　号　名
1	R_{OUT}(PR_{OUT})	6	R_{GND}(PR_{GND})	11	未接続
2	G_{OUT}(Y_{OUT})	7	G_{GND}(Y_{GND})	12	未接続
3	B_{OUT}(PB_{OUT})	8	B_{GND}(PB_{GND})	13	HD_{OUT}
4	未接続	9	未接続	14	VD_{OUT}
5	GND	10	HV_{GND}	15	未接続

(VIDEO)

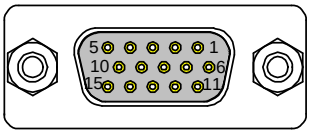


接続面視

ピン番号	信　号　名
1	VBS_{IN}
2	GND

6-7 映像入力端子(RGB系) ---------- HD D-SUB15ピンメス

(RGB/YPBPR)

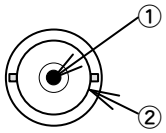


接続面視

ピン番号	信 号 名	ピン番号	信 号 名	ピン番号	信 号 名
1	R_{OUT}(PR_{OUT})	6	R_{GND}(PR_{GND})	11	未接続
2	G_{OUT}(Y_{OUT})	7	G_{GND}(Y_{GND})	12	未接続
3	B_{OUT}(PB_{OUT})	8	B_{GND}(PB_{GND})	13	HD_{OUT}
4	未接続	9	未接続	14	VD_{OUT}
5	GND	10	HV_{GND}	15	未接続

6-8 映像入力端子(ビデオ系) ---------- BNCコネクタ

(VIDEO)

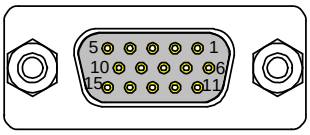


接続面視

ピン番号	信 号 名
1	VBS_{IN}
2	GND

6-9 映像出力端子 ---------- HD D-SUB15ピンメス・BNCコネクタ

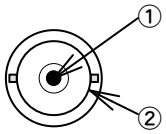
(RGB/YPBPR)



接続面視

ピン番号	信 号 名	ピン番号	信 号 名	ピン番号	信 号 名
1	R_{OUT}(PR_{OUT})	6	R_{GND}(PR_{GND})	11	未接続
2	G_{OUT}(Y_{OUT})	7	G_{GND}(Y_{GND})	12	未接続
3	B_{OUT}(PB_{OUT})	8	B_{GND}(PB_{GND})	13	HD_{OUT}
4	未接続	9	未接続	14	VD_{OUT}
5	GND	10	HV_{GND}	15	未接続

(R・G・B・H・V)

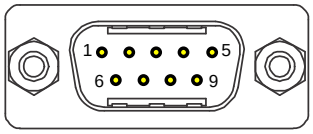


接続面視

ピン番号	信 号 名
1	R・G・B・H・V_{OUT}
2	GND

6-10 RS-232C通信端子 ---------- 9ピンD-SUBオスコネクタ

(RS-232C)

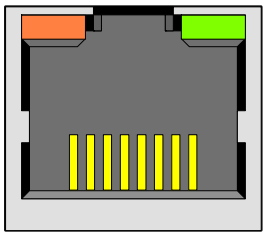


接続面視

本機側			PC/AT互換機	
ピン番号	信号名		ピン番号	信号名
1	未接続		1	DCD
2	RxD	⟍⟋	2	RxD
3	TxD	⟋⟍	3	TxD
4	N.C.		4	DTR
5	GND	———	5	GND
6	N.C.		6	DSR
7	RTS	⟍⟋	7	RTS
8	CTS	⟋⟍	8	CTS
9	GND	———	9	RI

6-11 ネットワークインターフェース---------- RJ45コネクタ

(10BASE-T/100BASE-TX)



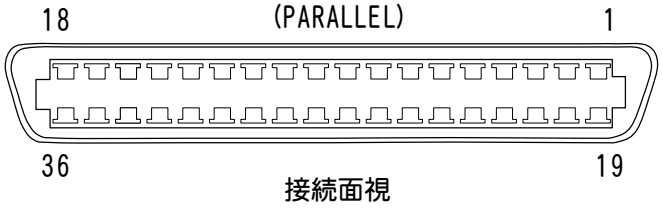
接続面視

ピン番号	信 号 名	方向	機　能
1	TX+	出力	送信データ+
2	TX−	出力	送信データ−
3	RX+	入力	受信データ+
4	N.C.	―	未接続
5	N.C.	―	未接続
6	RX−	入力	受信データ−
7	N.C.	―	未接続
8	N.C.	―	未接続

● LED表示機能

左 LED	定　義	右 LED	定　義
OFF	No Link	OFF	No ACTIVITY
アンバー点灯	10Mbps Link (10BASE-T)	アンバー点灯	Half Duplex;Activity
		緑点灯	Full Duplex;Activity
緑点灯	100Mbps Link (100BASE-TX)	アンバー点灯	Half Duplex;Activity
		緑点灯	Full Duplex;Activity

6-12 パラレルリモート端子 ---------- アンフェノール36ピンメスコネクタ



接続面視

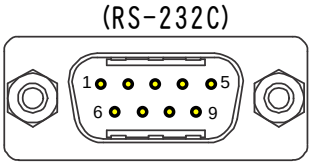
● ピン配列

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	N.C.(未接続) ※1	19	N.C.(未接続) ※1
2	GND	20	GND
3	OUT1__SEL1	21	OUT1__SEL2
4	OUT1__SEL3	22	OUT1__SEL4
5	OUT1__SEL5	23	OUT1__SEL6
6	OUT1__OFF	24	R1
7	OUT2__SEL1	25	OUT2__SEL2
8	OUT2__SEL3	26	OUT2__SEL4
9	OUT2__SEL5	27	OUT2__SEL6
10	OUT2__OFF	28	R2
11	PRV__SEL1	29	PRV__SEL2
12	PRV__SEL3	30	PRV__SEL4
13	PRV__SEL5	31	PRV__SEL6
14	PRV__OFF	32	R3
15	C1	33	C2
16	C3	34	C4
17	C5	35	C6
18	VOL−UP ※2	36	VOL−DOWN ※2

※1:N.C.ピンは開放状態でご使用ください。
※2:VOL-UP/VOL-DOWNは、AUDIO VOLUMEが制御できます。

※V6100/V6200とV6110/6210では一部の配置が異なっていますのでご注意ください。

6-13 外部機器用RS-232C通信端子 ---------- 9ピンD-SUBオスコネクタ

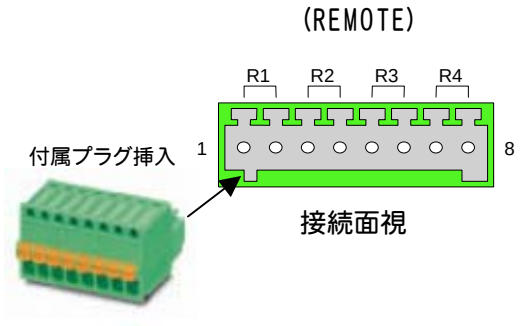


接続面視

本機(COM1,COM2)	
ピン番号	信号名
1	未接続
2	RxD
3	TxD
4	N.C.
5	GND
6	N.C.
7	RTS
8	CTS
9	GND

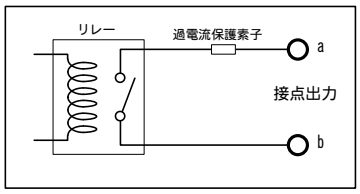
※COM1,COM2の2系統装備しています。双方ともコネクタおよびピン配置は同じです。

6-14　接点リモート端子 ―――――――――――――――――――――――――――― 8ピンターミナルコネクタ



ピン番号	信　号　名
1	R1　a
2	R1　b
3	R2　a
4	R2　b
5	R3　a
6	R3　b
7	R4　a
8	R4　b

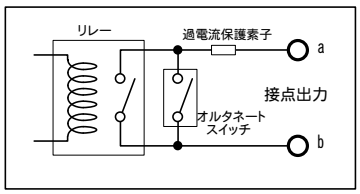
※端子は右図のようにフローティングされています。
※フェニックスコンタクト社製MICRO COMBICONプラグ付属。
※0.14㎟～0.5㎟またはAWG#26～#20のより線／単線を使用してください。0.2㎟以上であれば差し込むだけで接続できます。
挿入しにくい場合はオレンジ色の開閉レバーを押しながら挿入できます。
※【R1～R3】ボタン　リレー接点電気仕様
最大定格　AC125V/DC60V 1A MAX



R1～3 内部回路

【R4】ボタン(SYSTEM POWER)　スイッチ接点電気仕様
最大定格　AC125V/DC30V 1A MAX

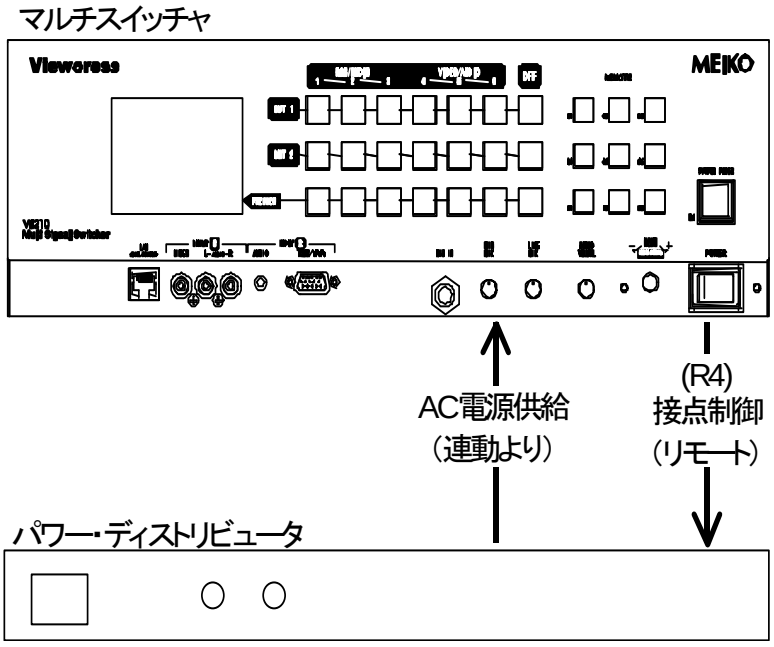
ご参考:スイッチの最大定格は　AC250V/DC30V 5A
の仕様ですが、リレー接点との併用になりますので、
それぞれ低い方の定格値を最大定格としています。



R4 内部回路

※突入電流の大きな機器は瞬間的な過大電流により接点を破損するおそれがありますのでご注意ください。
モータやトランスなど誘導性のある部品が直結となることは避けてください。
また、安全上、商用電源の直結は避けてください。

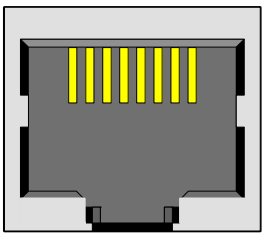
■ R4ボタンの接続使用例 ■
マルチスイッチャ本体の電源をパワーディストリビュータの連動より供給、ディストリビュータのリモート端子とR4端子を接続することにより、R4ボタンによるシステム電源の一括ON/OFFすることが可能です。



6-15　ネットワークインターフェース(フロント~リア スルー接続) ---------- RJ45コネクタ

(10BASE-T/100BASE-TX)

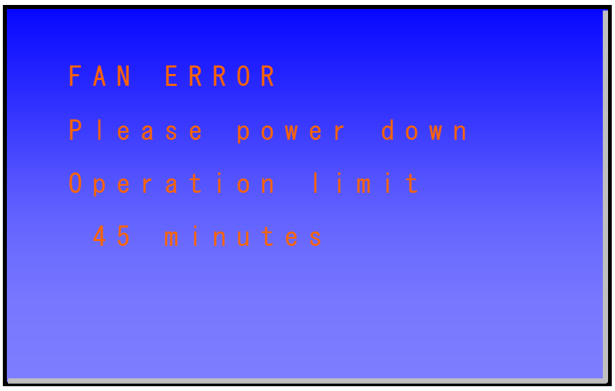
1　　8



接続面視

ピン番号	フロント 信号名		リア 信号名
1	TX+		TX+
2	TX−		TX−
3	RX+		RX+
4	N.C.		N.C.
5	N.C.		N.C.
6	RX−		RX−
7	N.C.		N.C.
8	N.C.		N.C.

【7】こんな表示が出たら



状　態:冷却ファンモータの回転が低下、あるいは停止しています。

チェック:ファンが正常に回転しているか、異物などが接触していないか確認してください。

対　策:ファンに異物などが接触している場合、必ず電源をOFFにして異物を取り除いてください。

※上記の原因でも改善しない場合は、すぐに電源を切り販売店までご連絡ください。

※表示時間が経過しますと、自動的に操作がロックされます。

⚠ 警告

ファンエラーメッセージが表示されたら速やかに電源をOFFにしてください。
ファンが停止した状態で運転を続けますと異常発熱や本体故障の原因となります。

【８】出荷時の設定

出荷時の設定値
※FACTORY RESETにより、下記の設定に戻すことができます。

	機能			FACTRY RESET時 初期設定値
メニュー項目	Video Output1 Video Output2	Resolution		XGA
		Color		工場出荷設定値
		Aspect		4:3
		Adjust	Position	H:0 V:0
			Zoom	H:5% V:5%
		Function	Motion	LIGHT
			Enhancer	4
			NR Level	AUTO
	Audio	Input Gain	IN 1～6	100%
		Mic Balance	LR Balance	0(センターポジション)
		Last Memory	On/Off	Off
	Communication	Select Port	Network/RS-232C	RS-232C
		Main Control (RS-232C)	Baudrate	19200
			Data	8
			Stop	1
			Hand	RTS-CTS
		Main Control (Network)	IP Address	192.168.100.100
			Subnet Mask	255.255.255. 0
			Default Gateway	0. 0. 0. 0
			Port	10001
		Ext. Serial (RS-232C) COM1,2	Baudrate	19200
			Data	8
			Stop	1
			Hand	None
			Parity	None
		Ext. Network (Ethernet) Network1,2	IP Address (Network1) (Network2)	192.168.100.101 192.168.100.102
			Subnet Mask	255.255.255. 0
			Default Gateway	0. 0. 0. 0
			Port	04352
			Protocol Through/PJLink	Through
			PJLink Password	JBMIAProjectorLink
	Remote	Relay Select	Mom/Alt	すべてMomentary
		Relay Link	No/R1/R2/R3	すべてNo
		System Power Link	On: No/C1/C4/C1&4 Off: No/C2/C5/C2&5 On Wait:0～15min Off Wait:0～15min	No No 0 0
	Option	Eco Mode	On/Off	Off
		Start Button Select	OUT1:1～6,Last OUT2:1～6,Last PREVIEW: 1～6,Last	すべてLast
		Select Wait	0.4～5.0sec	0.4sec
		Key Lock	Yes/No	No
出力選択		OUTPUT1	INPUT1～6	INPUT 1
		OUTPUT2	INPUT1～6	INPUT 1
		PREVIEW OUT	RGB/YP_BP_R INPUT1～3	INPUT 1
			VIDEO INPUT4～6	INPUT 4
		AUDIO	INPUT1～6	INPUT 1
コマンド登録		C1-C6	ボタン登録	すべてクリアー
		入力選択ボタンすべて	ボタン登録	すべてクリアー
音量ラストメモリー				0

リレー(R1～3)は本体が起動時には必ずOFFになります。

【9】主な仕様

入　力　系			
アナログRGB入力	RGB信号 または YP_BP_R信号	R/G/B信号	0.7V_{p-p}　(75Ω終端)
		Y　信　号	1.0V_{p-p}　(75Ω終端)　(三値同期重畳)
		P_B/P_R信号	0.7V_{p-p}　(75Ω終端)
		HS/VS信号	1.0～4.0V_{p-p}　(75Ω終端)　正極性/負極性
		コネクタ	①②③HD D-SUB15ピンメスコネクタ　※③は前面
ビデオ映像入力	VBSコンポジット信号 (NTSC・PAL・SECAM 自動識別)	VBS信号	1.0V_{p-p}　(75Ω終端)
		コネクタ	④⑤BNCコネクタ　⑥RCAタイプピンジャック　※⑥は前面
アナログ音声入力	ステレオ(不平衡)	L　R　信号	-10dBm (20kΩ以上)　最大入力レベル+6dBm
		コネクタ	①②④⑤⑥RCAタイプピンジャック ③ステレオミニジャックΦ3.5　※③⑥は前面
マイクロフォン入力	モノラル(不平衡)	MIC入力	ダイナミックマイクロフォン
		コネクタ	モノラル標準ジャックΦ6.3　※前面
LINE MIX入力	ステレオ(不平衡)	L　R　信号	-10dBm (20kΩ以上)　最大入力レベル +6dBm
		コネクタ	RCAタイプピンジャック
出　力　系			
アナログRGB出力 (1系統2分配 V6110) (2系統2分配 V6210)	RGB信号 または YP_BP_R信号	R/G/B信号	0.7V_{p-p}　(75Ω終端)
		Y　信　号	1.0V_{p-p}　(75Ω終端)　(三値同期重畳)
		P_B/P_R信号	0.7V_{p-p}　(75Ω終端)
		HS/VS信号	2.4V_{p-p}　(75Ω終端)　正極性/負極性
		コネクタ	①②HD D-SUB 15ピンメスコネクタ、BNCコネクタ×5
ビデオスキャンコンバータ解像度		倍速(ダブラモード)，VESA準拠SVGA，XGA，SXGA，WXGA，720p，1080i	
ノンスケーリング 映像出力特性	帯　域	300MHz　(ドットクロック換算)	
	映像クロストーク特性	48dB　(40MHz)	
RGBプレビュー映像出力	RGB信号 または YP_BP_R信号信号	R/G/B信号	0.7V_{p-p}　(75Ω終端)
		Y　信　号	1.0V_{p-p}　(75Ω終端)　(三値同期重畳)
		P_B/P_R信号	0.7V_{p-p}　(75Ω終端)
		HS/VS信号	2.4V_{p-p}　(75Ω終端)　正極性/負極性
		コネクタ	HD D-SUB 15ピンメスコネクタ
VBSプレビュー映像出力	VBSコンポジット信号	VBS信号	1.0V_{p-p}　(75Ω終端)
		コネクタ	BNCコネクタ
音声出力 (1系統2分配 V6110) (2系統2分配 V6210)	ステレオ(不平衡)	L　R　信号	-10dBm (ローインピーダンス) フロントボリュームGain 最大+6dB(入力100%設定時)
		コネクタ	①②RCAタイプピンジャック
	周波数特性	20～20kHz:フラットネス　20～80kHz:±3dB	
制　御　系			
基本操作	フロントパネル	操作ボタン,ロータリーダイアルおよびLCD表示	
	プレビューモニタ	3.5インチカラーTFT LCD 640×400dot　NTSC/VGA～SXGA対応	
本体制御 (RS-232C)	通信方式	RS-232C規格準拠	
	伝送方式	調歩同期(非同期)伝送	
	コネクタ	D-SUB9ピンオスコネクタ	
本体制御 (イーサネット)	プロトコル	ARP，TCP/IP，ICMP，SNMP，AuotIP，DHCP，TFTP，Telnet，HTTP	
	イーサーネット	V2.0/IEEE 802.3	
	コネクタ	RJ45 (10Base-T/100Base-TX)	
本体制御 (パラレル)	コネクタ	アンフェノール36ピンコネクタ	
	電気仕様	無電圧接点入力	
	機能	各出力信号選択1～6・OFF,C1～6,R1～3の各ボタンおよびAUDIO VOLUME　UP,DOWNが連動	
外部機器制御 (RS-232C COM1,2)	通信方式	RS-232C準拠 2系統	
	伝送方式	調歩同期(非同期)伝送	
	コネクタ	RS-232C/D-SUB9ピン オス	
外部機器制御 (イーサネット PORT1,2)	プロトコル	ARP，TCP/IP，ICMP，SNMP，AuotIP，DHCP，TFTP，Telnet，HTTP	
	イーサーネット	V2.0/IEEE 802.3	
	コネクタ	RJ45 (10Base-T/100Base-TX)	
外部機器制御 (接点制御)	通信方式	CPU制御リレー接点 4系統(R1～R4)	
	コネクタ	フェニックスコンタクト社製MICRO COMBICONプラグまたは相当品	
前面ボタン外部機器制御	フロントパネル	操作ボタン(接点制御　4ボタン:R1～R4，通信制御　6ボタン:C1～C6)	

環境条件・その他			
使用温度／湿度	±0℃～+40℃　20%～80%(結露なきこと)	消費電力	35／40W　AC100V (V6110／V6210)
保存温度／湿度	−10℃～+50℃　10%～90%(結露なきこと)	重量	約4.5Kg
電源電圧	AC100V～240V　50/60Hz	外形寸法	430(W)×132(H)×150(D)mm (ラック取り付け金具および突起物を除く)　EIA3Uサイズ

※仕様は改良等により変更される場合があります。

【１０】製品保証

保証規定

●本製品の製造・検査には万全を期しておりますが、お客様の正常なご使用状態のもとで万一メーカー側の起因による製品の故障が発生した場合は、工場にて無償修理致します。
ただし、ユーザーのコンピュータ、ハードウェア、ソフトウェアや、インターフェースの互換性に関する問題は、この保証の対象に含まれません。
また、この保証は、本製品の使用不可能、または本製品を使用することで生じた損害等についていかなる責任を負うものではありません。

●保証期間内においても次の場合は有償となります。

・お客様による輸送・移動時の落下・衝撃等、取扱が適正でないために生じた故障・損傷の場合。
・火災・地震・水害等の天災地変,暴動・戦争等の人災および異常電圧による故障・損傷の場合。
・本製品に接続している他の機器に起因する故障の場合。
・弊社以外で修理・調整・改造・改良を行った場合。
・本製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取扱によって生じた故障・損傷の場合。

●保証に関する規定は日本国内のみ有効とさせていただきます。また、輸送に関する費用はお客様側でご負担いただく場合があります。

●保証期間　　購入日より1年間

【１１】製品の修理・調整について

修理・調整規定

●本製品は工場修理対象品です。技術者がユーザー側に出向いての修理・調整は原則として行ないません。万一本製品が故障した場合は、故障品をお送りいただき、弊社工場にて修理を行ないます。なお、やむを得ず現地修理となる場合は実費を請求させていただきます。

●ケーブル・フロッピーディスク等、消耗品に関しての修理・調整は行ないません。

●お客様側で作成された画像データ、ソフトウェアに関しての修理・調整は行ないません。

●本製品の販売終了後も弊社の定める期間において保守用部品を保有しています。
保守可能期間につきましては製品により異なりますのでお問い合わせください。
なお、この期間を超えた場合の修理に関しましては別途御相談ください。部品メーカーの生産中止等による修理不能の際、代替部品などでその機能を維持することができる場合もございます。

●本製品の故障に起因する、あるいは取扱の不備等に起因する他の機器の連鎖故障・ソフトウェアの破損に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

※故障品をお送りいただく場合は、故障状況の詳細・連絡先を明記の上、輸送時のトラブルが発生しないよう、購入時の梱包状態でお送りください。

※修理手続き、費用等につきましては、ご購入になりました販売店、または弊社までお問い合わせください。

お客様へのお願い

1. 本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一お気づきの点や、ご不明点がありましたらご一報ください。
4. 本製品の仕様、外観等につきましては予告なく変更することがあります。
5. 本製品のハードウェアやソフトウェアの一部または全部を複製、あるいはリバースエンジニアリング等により利用することは禁止されています。
6. 本製品が外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当する場合には、日本国外に輸出する際に日本国政府の許可が必要です。
7. 運用した結果については上記各項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マルチスイッチャー
Viewcross V6110/V6210
取扱説明書

2011年　2月　10日　　初版発行
2011年　2月　18日　　改訂
2011年　3月　25日　　改訂
2011年　8月　 4日　　改訂

株式会社 メイコー

©2007-2011 by MEIKO ELECTRONICS CO.,LTD.

■ 製品についてのお問合せは…

お客様相談窓口 株式会社　メイコーテック	TEL 03-5777-0980　　FAX 03-5777-0981 受付時間　月曜～金曜　午前9時～午後5時（休業日を除く）

■ ホームページ

映像機器部門	http://www.meiko-iv.com/
株式会社メイコー 企業URL	http://www.meiko-elec.com/

MEIKO ELECTRONICS CO., LTD.

■ 開発製造元
株式会社メイコー

■ 販売元
株式会社メイコーテック
・新橋営業所　　〒105-0004　東京都港区新橋5-8-4　柴田ビル7F

Printed in JAPAN